

第二十二回 貴族院議事速記録第九號

明治三十九年二月二十三日(金曜日)

午前十時八分開議

議事日程 第九號 明治三十九年二月二十三日

午前十時開議

第一 作業會計法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 産業試驗費講習費國庫補助法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會(特別委員長報告)

第四 産業組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(特別委員長報告)

第五 國債整理基金特別會計法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會(特別委員長報告)

第六 非常特別稅法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會(特別委員長報告)

第七 戰後ノ經營ニ關シ臨時調查局ヲ設クルノ建議案(前田正名君提出) 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮リヲ申上ゲマスガ、諸般ノ報告ハ此議

場デハ省略シテ宜シカラウト存ジマスガ、如何デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガゴザイマセヌケレバ朗讀ハ省略ヲ致シマ

ス

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

去ル十七日鐵道敷設法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員

長ノ氏名左ノ如シ

委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 古市 公威君

同日政府ヨリ左ノ報告ヲ受領セリ

内務省所管臺灣總督府官有財産目錄並明治三十七年四月一日ヨリ同三十

八年三月三十一日ニ至ル各省所管官有財産増減異動報告

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

貴族院議事速記録第九號 明治三十九年二月二十三日 議長ノ報告

作業會計法中改正法律案

去ル二十日産業組合法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員

長ノ氏名左ノ如シ

委員長 谷森 眞男君 副委員長 奥山 政敬君

同日輸出羽二重精練業法案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名

左ノ如シ

委員長 伯爵廣澤 金次郎君 副委員長 安廣 伴一郎君

一昨二十一日政府ヨリ左ノ法律案ヲ受領セリ

韓國ニ於ケル裁判事務ニ關スル法律案

貨幣法中改正法律案

同日議員子爵曾我祐準君外一名ヨリ非常特別稅法中改正法律案第二十七條

修正動議ヲ提出セリ

昨二十二日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、

作業會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文ノ朗讀

モ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ガ無イト認メマスカラ省略イタシマス

〔左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之

ニ倣フ〕

作業會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十九年二月十七日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長杉田定一

作業會計法中改正法律案 第一讀會

一〇五

作業會計法中左ノ通改正ス
第一條中「廣島鑛山」ヲ「海軍探炭所」ニ改メ第二條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
海軍探炭所据置運轉資本ハ十萬圓トシ漸次一般會計ヨリ繰入ス

附則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 本案ハ極メテ簡單ナル法案デゴザイマスガ、廣島鑛山ハ官業ヲ廢メマシタニ付キマシテ是ハ削リマス、ソレカラ海軍ノ探炭所ハ從來普通ノ會計ニナツテ居リマシタガ、此度經營ノ便利ヲ圖リマシテ、之ヲ作業ノ會計ニ移シタイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセスケレバ議事日程第二ニ移ラウト存ジマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此選定ハ議長ニ御任セニナツテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ議長ガ選定ヲ致シマス

〔前田正名君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 前田君ハ何デスカ

○前田正名君 第七ノ議事日程ハ取調ノ都合モゴザイマスルカラ、此次ノ日程ニ上ゲラレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程マデ御延バシナサルト云フ譯デアリマスカ

○前田正名君 左様デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ提出者ノ御希望通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無イト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、産業試驗費講習費國庫補助法案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

産業試驗費講習費國庫補助法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年二月十六日

右特別委員長

侯爵松平 康莊

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵松平康莊君演壇ニ登ル〕

○侯爵松平康莊君 委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ニ及ビマス、委員會ハ去ヌル十五日ニ正副委員長ヲ選ビマシテ、直チニ：

〔モウ少シ大聲ニ願ヒマス、聽エマセヌカラ：「ト呼ブ者アリ」〕

少シ喉ヲ痛メテ居リマスカラ御容赦ヲ願ヒマス、十五日ニ正副委員長ヲ選ビマシテ、引續キ開會イタシマシタ所ガ、少シ人モ足リマセヌニ依ツテ、翌日ニ延バシマシテ、續イテ委員會ヲ開キマシタ、此委員會ニ於キマシテモ政府委員カラモ：「ソレ」何モゴザイマシテ、ソレカラ委員カラモ質問等ヲ致シ

マシテ、可決スベキモノト委員會デハ決定イタシマシタ、尙御質問等モゴザイマスレバ政府委員ニ御尋ヲ願ヒタウゴザイマス、此案ハ至ツテ簡單ナ案デアリマスカラシテ、讀會省略デ直チニ可決アラムコトヲ希望イタシマス、此

段御報告ニ及ビマス

○伯爵吉井幸藏君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○田中芳男君 讀會省略ニ賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○子爵山口弘達君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○千坂高雅君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

○男爵船越衛君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 松平侯爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成ガゴザイマシタ、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四ニ移リマス、産業組合法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

産業組合法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年二月二十日

右特別委員長

谷森 眞男

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔谷森眞男君演壇ニ登ル〕

○谷森眞男君 本案ノ委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、去ヌル二十日委員長及副委員長ヲ選舉イタシマシテ、引續キマシテ、委員會ヲ開キマシテゴザイマス、種々質問ヲ重ネマシテ、逐條審議ヲ盡シマシタコトデゴザイマス、此産業組合ト申シマスルモノハ近年漸次發達イタシマシテ今日ニナリマシテハ信用組合、販賣組合、購買組合、生産組合ナドノ組合ヲ合セマスレバ、全國ニ於テ一千六百七十七ノ組合ガ成立ッテ居リマスマウナコトデゴザイマス、而シテ此現行ノ産業組合法ノ中ニ於キマシテハ組合ノ經營上ニ於テ實際不便ヲ感ジマスル點ガ種々ゴザイマスル、ソレヲ改正イタシマシテ益、此組合ノ發達進歩ヲ圖リタイト云フノ趣意カラ起リマシテ此改正ガ出マシタノデアリマス、委員ニ於キマシテハ此改正ハ必要ナモノト委員全體ニ於キマシテ認メマシタコトデアリマス、此段御報告イタシマス

○千坂高雅君 此案ハ誠ニ簡單ナ案デゴザイマスル、今委員長ノ報告ヲ承ッテ必ズ滿場御異議ハアルマイト思ヒマスカラ讀會省略ノ動議ヲ發シマス

○伊澤修二君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○南郷茂光君 賛成

○田中芳男君 賛成

○奥山政敬君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○松本鼎君 賛成

○木村誓太郎君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

○中島永元君 賛成

○菊池長四郎君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 千坂君ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアッタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ可決セラレタモノト認メマス

セヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、國債整理基金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、國債整理基金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

國債整理基金特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年二月十九日

右特別委員長

伯爵徳川 達孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵徳川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵徳川達孝君 國債整理基金特別會計法案委員會ノ經過及結果ヲ御報道申シマス、此案ハ本員ガ申スマデモナク、本期議會中ノ最モ重要ナル問題デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ度々會議ヲシマシテ、當局大臣ハ勿論、政府委員カラモ詳細ナル所ノ説明ヲ承リ、又委員カラハ種々質問ガゴザイマシタ、其質問ヤ説明等ノ模様ハ既ニ速記録ニ出テ居ルコトデゴザイマスカラ、既ニ諸君ハ御熟知ノコトト存ジマスカラ、茲ニ述ベマスコトハ略シテ置

キマス、サテ十分ニ審議ヲ盡シマシタル所、戰後經營上ニ於キマシテ斯ノ如キ法ヲ以テ國債ヲ整理スルト云フコトハ現今ノ場合已ムヲ得ナイコトデア
 ル、併ナガラ此三十九年度ノ豫算ヲ見ルト云フト、一方ニ於テハ斯ノ如キ法
 案ヲ設クルニモ拘ラズ尙數千萬圓ノ借財ヲスルト云フコトガアル、又其中ニ
 ハ不生産的ノ爲ニ公債ヲ起スヤウナコトガ大方アルヤウニ見エル、併ナガラ
 此三十九年度ハ戰後ノコトデアアルカラシテ先ヅ致シ方ガナイトシテモ、將來
 ニ於テハ成ルベクタケ不生産的ノ爲ニ斯ノ如キ國債ヲ起サヌヤウニ、否
 ナ避ケ得ルコトガ出來ルノミナラズ成ルベクナラバ絕對的ニサウ云フ不生産
 的ノ爲ニ公債ヲ起サヌヤウニト云フ、斯ノ如キ方針ヲ以テ將來ノ財政ヲ立テ
 ラレムコトヲ希望スルト云フヤウナ意味ヲ有チマシテ、委員會ニ於キマシテ
 ハ全會一致ヲ以テ本案ハ可決スベキモノト云フコトニナリマシタ、此段御報
 告イタシマス、此案ハ前ニ申シタ如ク重大ナ案デハゴザイマスガ、甚ダ委員
 長ハ不完全ナ御報告ヲ申上ゲタト存ジマスカラ、其邊ハ惡カラズ御了承ヲ願
 ヒマス

○中島永元君 私ハ大藏大臣ニ一ツ質問ヲ致シマス、戰後ノ公債ノ始末トシ
 テ此國債整理基金法案ヲ提出サレマシタノハ誠ニ至當ノコトデ、大體ニ於キ
 マシテハ贊成ヲ致スノデアリマス、併ナガラ段々此法文ヲ讀ンデ見マシレバ、
 ドウモ此減債ノ目的ヲ此儘デ達スルヤ否ト云フコトガ懸念ニ存ジマス、先ヅ
 一ツ例ヲ舉ゲテ申セバ、第二條ノ第一項ニ「國債整理基金ニ充ツヘキ資金ハ
 毎年度一般會計ヨリ之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ルヘシ」トアリマスガ
 是ハドウ云フ方法ヲ繰入ルルカ、唯繰入ルルバカリデハ基金ニナルマイト思
 フ、或ハ元金ノ百分ノ一トカ或ハ剩餘金ノ中カラ剩餘金ヲ以テ繰入レルトカ、
 或ハ何ヲ繰入レルトカ云フヤウニ第二項ノ事ガ何カ無クテハ是ハ此際ト
 コマデモ確實ニ行ハレマイト私ハ懸念スルノデアリマス、固ヨリ此減債基金
 ノコトハ外國デモ疾ヨリヤツテ居リマシテ、種々其國ニ依ツテ弊害ノアルコ
 トハ能ク御取調ノ上デ此案ヲ立テラレタノデアラウト思ヒマスガ、斯ノ如
 ク唯漠然トシテ減債整理基金ヲ提出サレタト云フコトハ、ドウモ是ハ實際ニ
 行ハレマイト思ヒマス、ソレモ現大臣ノヤウニ公債整理ニ適任ナル御方ガ在
 職デアレバ行ハレルコトモアリマセウガ、此減債基金ト云フモノハ各國デモ
 御承知ノ通り種々心配ヲシテ居リマスガ、ナカク能ク行ハレナイ、行ハレ
 ル時ハ其經畫シタ人ガ居ル間ハ行ハレルガ、アトニナレバ又破レル、遂ニ行

ハレマイト云フヤウナコトガ往々アルヤウデアリマス、ソレデ此二項ノ國債ニ
 餘ホド重キヲ置イテ之ヲ減債基金ニサレル目的デアラウト思ハレマスガ、ソ
 レデ從來ノ公債ヲ銷却シ、又將來モ益々銷却スル、隨分銷却ノ法ハ立ツテ居ル
 ヤウデアリマスガ、サウスレバ此法ノ爲ニ確實ナ減債基金ヲ付ケテ置カネバ
 一方ニハ第二項ノ一億一千萬ノ基金ヲ繰入レテ三十年限りニ銷却スルト云フ
 コトデアルガ、一方ニハ段々増シテ此方ノ銷却ガ無イト云フコトニナリハセ
 スカ、ドウモ是ハ其人ニ依ツテ行ハレルコトデ、若シ政府ナリ議院ナリガ減債
 ノコトヲ好マヌ時ニハ是ハ一向規定ガ無イカラ減債セヌデモ宜イコトニナ
 ル、唯利子ヲ拂フナラバ舊來ノ通りニ國庫カラ仕拂ツテモ宜イ、基金ヲ置クト
 云フコトヲ置カヌデモ宜イ、百圓入レテモ千圓入レテモソレデモ繰入ニナリ
 マス、誠ニ是ハドウデモナリ易イ法案デアルト思フ、畢竟此第二項ノ「一億千
 萬圓ヲ下ルコトヲ得サルモノトス」ト云フコトデ重モナル目的ニナツテ遂
 ニ第一項ノコトガソレカラ出タノデアアルマイカト思ヒマス、公債ニ關シテ
 ハ各國ノ是マデヤツテ來タ所ヲ考ヘマシテ、ドウモ是ハ覺束ナイ法案デハナ
 イカト思フノデアリマス、是モ彼ノビットトカハミルトントカ云フヤウナ人
 ガ十八世紀時代ニヤリヨッタ時分ナラバ、コンナ法案デモ宜イカ知レマセヌ
 ケレドモ、又其時分ニヤリヨッタ減債ノ方法デモ、マダモウ少シ何カ財源ヲ
 確定シテヤツテ居ッタヤウデアリマス、然ルニ此二十世紀ニ始メテ日本ハ減債
 資金ヲ置クノデアリマス、即チ二十世紀ニ始メテ阪谷式ガ行ハレルノデアリ
 マスガ、ドウモ是デハ不完全デハアルマイカト思フノデアリマス、ソレカラ
 其邊モドウシテ目的ヲ達スル積リデアリマスガ、モウ一ツハ第二項ノ一億一
 千萬圓ヲ必ズ繰入レルト云フコトデアリマスガ、是ハ果シテ間違ヒナク銷却
 ガ出來マセウカ、正貨ノ出所デアリマスガ、ドウモ其十年前カラ段々引續
 イテ毎年貿易ハ何時モ輸入超過デ正貨ガ流出シテ仕舞ヒマス、先ヅ外債ヲ以
 テ漸ク補ツテ行クト云フ有様デアル、ドウモ此一億一千萬圓ハ銷却ニナル
 譯デアリマスガ、是ハ能ク外國債ニ向ツテ元利銷却ノ方法ガ出來 マスヤ否ヤ
 其二箇條ヲ伺ヒマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、此第二條ニ於
 テ繰入レマスル所ノ資金ニ付テノ御尋ネデアリマシタガ、是ハ既ニ從來ノ分
 ニ付キマシテハ長年一定ノ方針ガ定マツテアリマスノデアリマシテ、之ヲ會テ

動カシタコトハ無イノデアリマス、即チ明治十一年頃カラ定マツテアル方針ガゴザイマスカラ此際別ニ憂慮スベキコトハ無イト信ジマスノデアリマス、將來ノコトニ付キマシテハ將來國家ガ公債ヲ募ラヌト云フコトハ絕對ニ言ヒ得ルコトデハナイノデゴザイマスカラ、ソレノ必要ノ起リマシタ場合ニハ又國債ヲ募ルコトハアリ得ルコトデアラウト考ヘマス、併ナガラ其場合ニ於キマシテハ又其起債イタシマスル目的方法ニ付テ十分ニ考ヘマシテ其減債ノ方法ハ斯ク、其減債資金ハ斯ク、スルト云フコトハ將來問題ノ起ツタ場合ニ決スル外ハ無イ、豫メ今日カラ法律デ極メルコトハ出來ヌコトデアリマス、ソレ故ニ第二條ニ於キマシテ此度新ニ定メナケレバナラヌ十八億ノ始末ニ付テ一億一千萬圓ノ必要ガアリマスカラ其コトヲ明記イタシマシタ次第デアリマシテ、此財源ハ即チ非常特別稅ノ繼續ニ依ツテ得マスル所ト又從來ノモノハ從來既ニ定ツタ財源ガアリマス、是ハ如何ナルコトガアリマシテモ、國家ハ債務ノ辨濟ヲ怠ルト云フコトハ出來マセヌ、第一ニ是ダケノ歳入ト云フモノハ此方ノ財源ニ充テマス、而シテ其殘ツタアトノ財源ヲ以テ諸般ノ經畫ヲ國力相當ニ定メテ行クコトニナリマスカラ此財源ヲ以テ此財源ニ充テルト云フコトハゴザイマセヌ、其邊ノコトハ例ヘバ大藏大臣ガ變リマシテモ心配ハ無イト思ヒマス、ソレカラ正貨ノ收支ニ付キマシテノ御尋デゴザイマシタガ、是ハ誠ニ重要ナ問題デゴザイマシテ、今後貿易ノ平均其他ノ上ニ於キマシテノ正貨ノ收支ニ付キマシテ厚ク注意ヲ加ヘナケレバナリマセヌ、ソレデ其事ニ付キマシテハ段々經濟上ノ問題等ニ於キマシテ此平均ヲ保ツノ途ヲ講ジテ行カナケレバナリマセヌ、此戰時中ニ生ジマシタ如キ不平均ガ續キマスレバ誠ニ唯今ノ御質問ノ如キ困難モ生ジマセウト思ヒマス、即チ戰時中モ貿易ハ常ニ進ンデハ參リマシタ、輸出モ決シテ退縮シタノデハナイ、輸出モ戰時ニ拘ラズ、ズン、進ンデ參リマシタケレドモ、何分外國カラ購入イタシマス軍需品ガ非常ニ多イ、或ハ羊毛ノ如キ或ハ鐵類ノ如キモノガ非常ニ多カッタモノデゴザイマスカラ、巨額ノ輸入超過ヲ示シマシタ、是ガ此儘繼續スルト云フコトニナツテハ大變ニ國ノ經濟上ニ取ツテハ困難ナコトニ相違ナイ、併ナガラ此戰役ノ終リマスト共ニ海外ニ將ニ注文セムトシタ軍需品ヲ陸海軍ニ於テ多クハソレヲ見合セ、又出來ルモノハ解約スルト云フコトニシマシタカラ、正貨ノ海外ニ出ルコトハ十分ニ節縮シテゴザイマス、而シテ他ノ方面ニ於キマシテハ產業ノ發達ノ上ニ於キマシテ十分ニ注意ヲ加ヘテ參リマ

シテ、將來ニ於テ正貨ノ收支ノ上ニ困難ノ無イヤウニ致シテ行クト云フヤウニ考ヘテ居リマス、又是ハ致サナケレバナラヌ問題デアリマス、是ハ日本ノ如キ戰役中ト雖モ輸出ハ衰ヘヌ、却ツテ發展スルト云フ力ヲ持ツテ居ル國デアリマスカラ、十分ニ經濟上ノ關係ニ注意ガ届キマシタナラバ、此貿易ノ不平均ノ如キモ大ニ之ヲ矯正スルコトガ出來ヤウト考ヘマス、之ニ加フルニ日本ハ幸ニモ氣候ノ宜シイノト其他ノコトデ外國人ノ遊覽者モ段々多クナリマス、是等ノ如キ貿易以外ノ關係カラ生ジマス正貨ノ收入モ少カラヌコトデアリマス、デソレ等ノコトハ戰役ガ終リマシテ段々秩序ガ立ツテ行クニアラザレバ確タル計算ヲ茲ニ數字ヲ擧ゲテ御話スルコトハ固ヨリ出來ヌノデアリマス、ケレドモ大體ニ於キマシテハ政府ニ於キマシテハ必ズ此事ハ心配ノ無イコトデアラウト存ジテ居リマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ハ何デスカ

○伯爵德川達孝君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

○子爵曾我祐準君 贊成

○伯爵吉井幸藏君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ

供シマス

○議長(公爵德川家達君) 全部贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 全部贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 全部贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認めマス、此ニ於テ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵德川達孝君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 賛成

〔其他「賛成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議ノ

通り御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ是デ可決セラレマシタ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六ニ移リマス、非常特別稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

非常特別稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十九年二月二十一日

右特別委員長

伯爵德川 達孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

○伯爵德川達孝君 非常特別稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報道イタシマス、此案ハコ、ニ現ハレタル所ノ法文ニ於キマシテハ至ッテ單純ナモノノヤウニ見エマスルガ、其内容ハ前ノ國債整理基金ノ案ト同様ニ重大ナモノデゴザイマス、デ委員會ニ於キマシテハ前案同様ニ度々會議ヲ開キマシテ十分ニ審議ヲ盡シマシタ、現行法ノ此二十七條ニ於テハ「平和克復ニ至リタルトキハ其ノ翌年末日限本法ヲ廢止ス」斯ウアルデス、ソレヲ「本法ハ明治四十一年三月三十一日限之ヲ廢止ス」斯ウ云フ修正説ガ委員ノ中カラ出マシタ、併ナガラ是ハ採決ヲ致シマシタ所ガ十名ニ對スル三名ノ少數ヲ消滅ニナリマシタ、結局本案ハ原案ノ通り可決スベキモノトナッタ次第デアリマ

ス、尙此賛成並ニ反對ノ理由ハ報告ガ濟ミマシタラ諸君ノ中カラ十分ニ御述ベニナラウト存ジマスカラシテ私ガ今更喋々申スノモ却ッテ意味ガ間違フトイケマセヌカラ報告ハ唯簡單ニ之ニ止メテ置キマス、終リニ臨ンデ一言申シテ置キマスガ、本案ニ付テハドウカ政府ノ方ヘ御尋ヲ願ヒマス、又委員會ニ於キマシタコトニ付テ何ゾ御尋ネガアリマスレバ本員ガ記憶シテ居リマス限リハ御答ヲ致シマスカラ、本員ノ申シ足リスコトガ有リマシタラ、ドウゾ委員ノ中カラ御述ベヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 委員長ニ御尋ヲ致シタイ

○議長(公爵德川家達君) 委員長ニ伺ヒマスガ、モウ報告ハ濟ンダンデスネ

○伯爵德川達孝君 ハイ

○男爵伊達宗敦君 委員長ガ自分ノ心得テ居ルダケノ委員會ニ於ケルコトハ遠慮ナク問フヤウニト云フコトデアリマシタカラ、御遠慮ナク御尋ヲ致シマスルガ、隨分委員長ノ御報告ハ簡略デアリマシタ、ソレデ大分委員會ニハ御議論モアツタコトト存ジマス、御質問モ隨分アリ、總理大臣又ハ大藏大臣ノ御答辯モアツタコトト存ジマス、〔低聲聽取難シ〕

〔聽エマセヌ、モウ少シ大キナ聲デ...ト呼ブ者アリ〕

大體ニ於テ最モ此案ノ肝要ナル所ハ、殆ド本員ナドノ賛否ヲ決スルニ付テ重大ナル關係ガアルコトヲ御尋ネシタイ、ソレハ何デアアルカト言ヘバ、委員長ノ御述ベニナッタ如ク非常特別稅法ノ二十七條ト云フモノハ、申スマデモナイ三十七年ニ衆議院ニ於テ加ヘタモノデアアルノデアリマス、即チ年限ヲ附スルト云フコトハ衆議院デ加ヘタ案デアアル、ソレハ分ッテ居リマスガ、衆議院ニ於テ期限ヲ附スルト云フコトニ政府ハ同意ヲシタノデアアル、其同意シタト云フコトハ如何ナル趣意デ、如何ナル覺悟、如何ナル責任ヲ以テ之ニ同意ヲシタノデアアルカト云フコトハ委員會ノ場合、御尋ネニナリマセヌデアリマシタカ、又御尋ネニナッテ明瞭ナル政府ノ答辯ヲ得ラレタノデアリマスガ、御手數デアリマスガ、御答ヲ煩ハシマス

○伯爵德川達孝君 唯今伊達男爵ノ御問ニ御答ヲ致シマスガ、政府ニ於テ此期限ヲ附ケルト云フコトニ付テ同意ヲシタト云フコトニ付テハ、速記録ニモゴザイマス通り、委員ノ中カラ別段質問モ無カッタヤウニ思ヒマス、此事ハドウカ伊達男爵ヨリ政府ノ當局者ニ御尋ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君 委員長ニ御尋イタシマシタガ、委員會ニ於テハ本員ノ希

望スル所ノ質問ハ無カッタ、直ニ政府ニ御尋ネスルヤウニト云フコトデアリ
マスカラ、已ムヲ得マセヌ、...已ムヲ得マセヌデハナイ、是ハ私ガ申シ誤ッ
タノデアアル、政府ニ御尋ネシタイト思フ、唯今モチヨット述ベマシタガ、
抑々衆議院ニ於テ三十七年ニ第二十七條即チ此非常特別税ニ期限ヲ附スルコ
トヲ加ヘタ、是ハ政府ハ同意ヲシタノデアアルガ、果シテ平和克復ニ至リタル
翌年末日ニ於テ此法案ヲ廢止スルコトガ出來ルト確信シテ同意サレタノデア
リマスカ、ソレヲ御尋ネシタイ、御分リニナリマシタカ、マダーツアリマス
ガ、御答ヲ得タ上ニ御尋ネヲ致シマスルカラ、ドウカ明瞭ニ御答ヲ願ヒマ
ス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 唯今御尋ネニナリマシタ此法案ガ前年衆議院デ
モッテ修正ニナリマシタ時ニ、ドウ云フ趣意ヲ以テ政府ハ同意シタカト斯ウ
云フ御尋ネデアリマシタト考ヘマスガ...

○男爵伊達宗敦君 少シ違ヒマス、此二十七條ヲ加ヘタ、政府ガ之ニ同意シ
タト云フノハ果シテ衆議院デ第二十七條ヲ加ヘタ趣意通り平和克復後其翌年
度末ニ於テ此法ヲ廢シ得ルト云フコトヲ確ニ政府ハ信ジテ之ニ同意ナスツタ
カト云フノデアリマス

○國務大臣(阪谷芳郎君) 政府ニ於キマシテハ其當時戰役ノ爲ニ起シマシタ
所ノ財源デゴザリマシテ、是ハ即チ此戰後ニ要スル臨時ノ費途ニ使フ積リデ
アリマス、戰役ノ結果ガドウナルカ、長クテ濟ムカ短クテ濟ムカ、ソレ等ノ
コトハ固ヨリ誰ニモ分ラヌコトデアリマス、ソレデ衆議院ニ於キマシテハ先
ヅ戰役中ノ費用トシテ之ヲ協賛シテ、アト一年間ニ於テ十分ナル見込ヲ付ケ
ラレタイト云ウヤウナ趣意デアツタカト記憶イタシテ居リマス、政府ニ於キ
マシテモ此戰役ノドウナルカト云フコトハ結果モ未ダ分ラヌ時期デゴザイマ
シタガ故ニ、其ノ趣意ニ同意ヲ致シマシテ、即チ此期限ヲ附スルト云フコト
ニ同意シタ次第デアリマス、今日ハ即チ結果ト致シマシテ、到底之ヲ經常ノ
財源ニ改メネバナラヌ事情ガ生ジタニ依ッテ、更ニ削除ノ法案ヲ出シマシタ、
斯ク御承知ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君 モウ一應伺ヒマス、成ルホド戰時ノ際デアアルカラ此戰役
ガドウ位井長ビクカ或ハ早ク片付クカト云フコトハ、如何ニモ大藏大臣ノ唯
今述ベラル、如ク、神ナラヌ身ノ豫期スルコトハ出來ヌノデアリマス、ソレ

ハ分ッテ居ルケレドモ、詰リ衆議院ノ其時ノ速記録ヲ此所デ讀ンデモ斯ウ云
フコトニナッテ居ル、是ハ衆議院ノ櫻井駿ト云フ方ガ此意見ヲ述ベラレタノ
デアリマス、少シ長イガ讀ミマスカラ諸君モ暫時御聽キヲ願ヒタウゴザイマ
ス、...

〔笑フ者アリ〕

...御笑ヒドコロデハナイト思ヒマス、何ガヲカシクッテ御笑ヒニナルカ私
ニハ分ラヌ、唯趣意モ聽カズニ此案ヲ通過ササウト云フ御考ナラバ御笑ヒニ
ナルモ宜カラウガ、私ドモサウ云フコトハ出來ヌ、十分ニ政府ノ意志ノアル
所ヲ確メテ、果シテ道理アリト思ヘハ進ンデ賛成モスルノデアリマス、ソレ
ヲ確メズニ笑ヒグラホデ濟マスコトハ出來マセヌ、ソレデ此駿ト云フ人ガ修
正ヲシタノデアリマスルガ、前ハ大分長イカラ要點ダケヲ讀ミマス

斯ウ云フ考デアリマス、此期限ヲ附ケルト云フコトハ餘程必要ト私ハ考ヘ
ル、非常特別税法ト云フ名デハアリマスケレドモ、若シ會計ノ整理ト伴フ
トキハ、半年ヤ一年ハドチラノ手心ニナラヌトモ限ラナイト言ハレテ居リマス、ソレ
半年ヤ一年ハドチラノ手心ニナラヌトモ限ラナイト言ハレテ居リマス、ソレ
カラ

此際ニ於テ忠勇ナル國民ガ外征ニ赴キ、又此大ナル増税ニモ甘ンジテ居ル
ト云フ際ニ、政府獨リサウ云フコトヲ疑フト云フ決心ハ無イノデアリマス
ケレドモ

是ハドウ云フ意味ダカ本員ニハ分ラヌ
法律トシテハ期限ヲ明カニスルト云フコトガ必要デアルト信ジマシテ、唯
名義ガ非常特別税法デアアルカラ、期限ハイツニナルト云フコトハ解ラナイ
ヤウナコトヲシテ置クヨリカハ、此税法ヲ立テルト云フコトニ於テハ期限
ヲ判明スルノ必要アリト信ジマシテ、此一箇條ヲ加ヘタイ

ソレデ修正ト云フノハ衆議院ノ委員會ニ於テ成立ッテ今日ノ如クナッタノデア
リマス、之ニ依ッテ見マシテモ此時ハ即チ國民ヲ代表セラレル衆議院ノ諸君
ニ於テ無論此期限ヲ附シテ置テ國民ニ盟フコトガ必要ト認メラレタカラ賢明
ナル衆議院ノ諸君ハ斯ウ云フコトヲ附ケラレタノト思ヒマス、是ハ少シ餘言
ニ涉リマスケレドモ、ソレデ政府ノ所信ヲ私ガ御尋ネスルト云フコトハ、戰
役ハ何時果テルカ終ハルカト云フニ付テ此二十七條ト云フモノガドウ云フ關
係ヲ持ッ居リマスカ、何時終ラウトモソレハ構ハナイ、此二十七條ニ一箇年

ニ終ツタトキニハ云々、又二箇年デ終ツタトキハ、斯様斯様ト云フコトハ更ニ明記シテ無イ、又此櫻井駿君ノ意志モ恐ラクサウデアッダラウト、是ハ推測デアリマスケレドモ思フ、又多數ノ衆議院議員ノ之ニ賛成サレタノモ、ソレデアラウト思フ、ソレデ一年掛ッテモ又二年掛ッテモ平和克復ニ至リタル翌年末ト云フコトハ違ハスト考ヘル、幾ラ金ガ要ルトカ多イトカ少イトカ云フ問題ナラバ、ソレハ戰役ガ續クバ續クホド費用ガ要ルトコトハ分ッテ居ル、ケレドモ平和克復ニ至リタル翌年末ト云フコトニナレバ、假ニ申セバ三十七年ノ春ニ平和ニナラウトモ三十八年ノ春ニ平和ニナラウトモ共ニ是レ平和克復デアアリマセスカ、然ラバ其翌年度末ニ於テ之ヲ廢止スルト云フコトヲ衆議院ガ斯ノ如ク立派ニ述ベテ政府ガ同意サレタ以上ハ其時ニ於テ政府ハ果シテ平和克復ノ翌年度末ニ於テ之ヲ廢シ得ルト云フ見込ガ無ケレバ同意ガ出來ナイ理窟デヤト考ヘル、ソレトモ政府ニ於テハサウ云フ見込ハ無クテモ唯漠然ト同意シテ置ケバ宜シイ、斯ウ云フ御考デアリマスカ、或ハサウデハナイカト私モ疑フ、故ニ第二ニ御尋ネシヤウト云フコトガアルノデアリマス、第一ニ對スル答ガ要領ヲ得マセヌカラ、然ラバ私ノ方カラ政府ノ意志ヲ考ヘテ見テ御尋ネシマセウ、若シ戰役ガドノ位非續クカ分ラヌト云フヤウナコトヲ今ソコデ述ベラレルトスレバ當時衆議院ニ於テ二十七條ノ期限ヲ附シタト云フコトハ政府ニハ確信モ無ケレバ何モ無イ無意味デ同意シタト云フコトニナラケレバドウシテモ分ラヌ、若シサウデナイノナラバ腹ノ中デハ到底平和克復ノ翌年度末ニ於テ之ヲ廢止スルコトハ出來ヌト云フコトハ政府ガ信ジテ居ッタノデアアル、然レドモ其當時之ニ不同意ヲスレバ此案ノ通過ガイカヌト云フ懸念ヲ持タレタノデハナイカ、ソレガ爲ニ平和克復ノ翌年度末ニ之ヲ廢止スルコトハ出來ナイト云フコトハ當局者ガ信ジテ居ッタケレドモ、簡單ニ言ヘバ案ノ通過ニ便利デアアル、若シ不同意ヲスレバ不利益デアアル、之ニ同意ヲシテ置ケバ案ノ通過ニ利益デアアルカラ政府自身ノ信ズル謂ハユル所信ヲ枉ゲテ之ニ同意サレタニ外ナラヌト云フコトニナリハセヌカト思フ、御分リニナラヌケレバ誠ニ諸君ハ御笑ヒニナル方モアルカラ御氣ノ毒デアリマスケレドモ、本員ハ此事ガハッキリ分ラヌ中ハ、元々此案ハドウ云フ譯デ政府ガ同意シタカト云フコトガ分ラヌ以上ハ、政府ノ信用ト云フモノガ無イ、是ダケハ幾回デモ御尋ネイタシマスカラ明ニ御答ヲ願ヒマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(阪谷芳郎君) 其當時ノ當局者ガ如何ナル考ヲ持ッテ居ッタカト云フコトハ、既ニ當局者ガ變ッテ居リマスコトデゴザイマスルガ、私ノ記憶イタシマスル限ニ於キマシテハ先刻申シタ通りニ大戰役ノ結果トシテ一年間ノ猶豫ノ中ニ更ニ相當ナル案ヲ立テテ御協贊ヲ經ルノ餘地ガアルニ依ッテ之ニ同意セラレタコトト考ヘマス、何人モ是ガ早ク平和ニナルカデ濟ンダラウト云フコトハ分リマセヌ、早ク平和ニナレバ公債ノ額モ僅カデ濟ンダラウト思フ、サウ致シマスレバ固ヨリ平和克復後ノ一年ヲ待タヌデモ廢セラレタカモ知レナイノデアアル、然ルニ事情ハサウハ參リマセヌデ、非常ナル大戰役トナリ、非常ナル長イ年月ヲ要シ、而シテ其結果トシテハ非常ナル負擔ヲ茲ニ生ジタル事情ニナリマシタノデアリマス、此以上ハ國家ヲ維持スルニ適當ナル案ヲ具シテ御協贊ヲ仰グヨリ外、國家ニ忠實ナル方法ハ無イト考ヘマス、是デ大概御了承下サルコトト考ヘマス

○男爵伊達宗敦君 誠ニ御氣ノ毒デアリマスガ、或ハ私ガ愚カニシテ分ラヌノカモ知レマセヌガ、私ノ御尋シタ點ニハ御答辯ガ無イト私ハ考ヘルノデゴザイマス、度々御答辯ヲ煩ハスト云フコトハ私モ好マス、又徒ラニ大藏大臣ヲ苦メルナドト云フ考モ持ッテ居ラヌノデアリマスガ、唯今ノ御言葉ノ中ニ前ノ當局者ノシタ事デアアルカドウ云フ意志デシタカ云々ト云フコトガアタヤウデアリマスガ、ソレデアアルカラ第一讀會ノ時、私ガ此案ニ付テハ前内閣ノ提示シタ方法ニ付テ、アナタハ責任ヲ引受ケラレルカト云フコトヲ御尋シテ置イタノハ、即チ今日アルヲ慮ッタカラデアアル、唯今ノ御話ニ動トモスルト戰ガドノ位非續スルカ分ラヌト云フコトヲ言ハレルガ、ソレハ私ハ一向分ラヌ話ト思フ、尙前ノ當局ガドウ云フコトヲ申上ゲタカ記憶シテ居ラヌト云フ御話モアツタガ、記憶シテ居ラナケレバ是モ其當時ノ委員會ノ速記録ヲ讀ンデ御聽カセ申シマセウ、ソレハ恆松隆慶君ト云フ人ガ言ハレタコトデアアル、前ニ大藏大臣ノ曾禰荒助君ガ島田三郎君ノ問ヒニ對シテ述ベラレタコトガアツテ、ソレニ對シテ恆松君ガ言ハレタノデ、恆松君ガ言ハレルノニサウスルト、此非常特別稅法トゴザイマスノデ、非常ノ事件ガ回復致シマシタ以上ハ、此本法ニ別ニ戰時ガ終結ニナツタ時ハ、之ヲ元ニ復スルト云フ附則ハ書イテナクテモ、精神ハサウ云フ積リデアルト云フノデアリマスカ

ト斯ウ言ハレタ、其時ニ大藏大臣ノ御答ニ「其積リデアリマス」ト斯ウ云フコ

トヲ言ハレタ、其積リデアリマスト云フコトハ即チ前ヲ受ケテ來タ言葉デアッ
テ、恆松隆慶君ガ斯ウ云フ積リデアルカラト云フカラシテ斯様ニ解釋スルガ、
サウ云フ精神デアルカ、即チ案ノ精神ガサウデアアルカト云ウテ問ウタニ對シ
テ當時ノ大藏大臣ハ其積リデアルト云フ以上ハ其通りデアルト云フコトニナ
ルト私ハ考ヘマス、或ハ本員ガ解釋ヲ誤ッテ居ルナラバ、阪谷君カラ明ニ御説
明シテ願ヒタイ、斯ウ云フコトニナッテ居ルハ、是ニ由ッテ之ヲ考ヘテ見レバ當
時ノ政府ノ、衆議院ニ誓ヒ、將タ貴族院ニ誓ヒ、帝國國民ニ誓フノニ、是ハ
全クノ戰時稅デアアル、戰ガ終レバ平和克復ニナッテ翌年度末ニ於テハ此法案
ヲ廢止スルト斯ウ云フコトヲ明ニ誓ッテ居ル、前内閣ガソレデアルノニ、ソ
レハ前内閣ノコトデアアルカラ一向オレハ知ラス、前内閣ノ事ハ全ク今ノ内閣
總理大臣始メ國務大臣ハ知ラヌト云フナラバソレハ別ノ話デアアル、少シ餘言
ニ涉ルガ、若シ果シテサウデアアルモノトスレバ、抑、非常特別稅ト云フモノハ
前内閣ノ設計ニ依ッテ協贊シタモノデアアル、今日ノ豫算モ前内閣ノ編製シタ
モノデアアルカラ總テサウ云フモノニ付テハ現内閣ハ責任ヲ持ッテ臨ムコトハ
出來ヌト云フコトニナル、ソレデハ責任トコロコトハナイ、ドダイ受繼グコト
ハ出來ヌノデアアル、ソレデハ餘リ無責任ノ話ト思フ、斯ク衆議院ニ於テハ實
ニ國民ヲ代表サル、人々デアアルカラ國民ノ負擔ノ重イト云フコトニ付テハ確
カナル上ニモ確メテ大藏大臣ハ其積リデアルト答ヘテ居ルニモ拘ラズ、現今
ノ大藏大臣ハ戰ガ何時終ルカ分ラヌダッタト云フコトヲ類ニ言ハレルガ、ソ
ナコトハ理由ニモ何ニモナラス、又金ガ澤山要ッタト言ハレルガ、ソレハ無
論ノ事デアアル、今日ニ於テ直ニ之ヲ廢スルト云フナラバ無理カモ知レヌガ、
サウデハ無ク年限ヲ附ケルト云フコトニナッテ居ル、ソレニドウ云フ譯デ之
ニ同意ヲシタノデアアルカ、詰リ私ノ御尋ネニ二ツアル、最初ニ二十七條ヲ附
シタ時ニ誠心誠意確實ニ平和克復ノ翌年度末ニ於テ廢止スルト云フコトハ固
ク信ジテ同意シタカ、或ハソレハ出來ナイコトデアアル、不可能デアルト政府
ハ考ヘタケレドモ、案ノ通過ノ爲トカ或ハ少シ是ハ申シニクイケレドモ、他
ニ何カ金ノ這入ル見込デアラッテ其時ハ此位ノ事ハ譯ハナイト云フ御考デアッ
タカ、其事ハ公開ノ席デハ私ハ申サヌガ、或ハ政府ニ於テハ翌年度末ニ廢止
スルハ不可能デアルト云フコトヲ信ジテ居ルニモ拘ラズ一時通過ノ便宜ヲ計
ル爲ニ所信ヲ枉ゲテ同意シテ置イテ今日ノ如ク不法ノ削除ヲ提出スル考デ
アッタノデハナイカト考ヘル、度々御尋シテモドウシテモ大藏大臣ハ要領ヲ

得タ答辯ヲナサラス、答辯ハ出來マスマイ、信義モ何モナイカラ出來ル筈ハ
ナイノデアアル、剩サヘ總理大臣ガ過日委員會デ述ベラレタソレニモ斯ウ云フ
コトヲ申シテ居ラレル、ソレハ今述ベナクテモ宜シイガ、茲ニアリマスカラ
又讀ミマセウ、總理大臣ノ西園寺侯爵ガ述ベラレタ中ニ斯ウ云フコトガア
ル

谷子爵ガ過日孔子ノ弟子トカ云フ御話デアリマシタガ、是ハ孔子ノ弟子バ
カリデハナイ、孔子ノ弟子デアッテモ、耶蘇ノ弟子デアッテモ、佛ノ弟子デ
アッテモ、民信ナクンバ立タズト云フコトハ誠ニ千古ノ格言デアッテ、私ド
モモ常ニ最モ大切ニ考ヘテ居ルコトデゴザイマス、然ルニモ拘ラズ此大ナ
ル戰爭ヲ致シタ今日ニ於テハ之ヲ必シモ民ノ信ヲ破ルトマデハ申シマセ
ヌガ、私ノ良心ニ問ウタナラバ或ハ其方ニ近イカト思ヒマシテ……
斯ウ言ハレタ、如何デゴザイマセウ、先ヅ斯ウ云フモノニ喩ヘテ見ルト、是
ガ一尺ノ長サデ、コチヲ不信ノ極端トシマス、之ヲ信義ノ極端トシマス、サ
ウシマス總理大臣ノ言葉ハ信ヲ破ルトハ言ハヌガ、不信ノ方ニ近イ、之ヲ
一尺トスレバ七寸カ八寸カ、其方ニ近イト云フコトヲ總理大臣自カラモ述ベ
ラレテ居ル、ソレダカラ大藏大臣ガ無論信義ノアル筈モナシ、必ズ不信ト云
フ譯デアアル、ソレデ私ハ此ニ今申シテ置キマス、斯ノ如キ不信ナル政府、民
ニ信ヲ破ル、殆ド民ヲペテンニ掛ケタモノデアルト云フコトヲ此議場ニ於テ
明言イタシテ置キマス

〔國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕
○國務大臣(阪谷芳郎君) 前當局者ノ心情ニ就キマシテ色々穿ツヤウナ御
質問ハ私ハ答辯スルノ限リデハゴザイマセヌ、前當局者ト雖モ出來得ルコ
トデアレバ固ヨリ平和克復ノ翌年度末ニ於テ廢止スルト云フ考ヘテ有ッテ居
タニ相違ナイ、併ナガラ其當時同意スル場合ニ於テハ衆議院ノ恆松トカ云フ人ノ問ニ對
シテ答ヘタ速記ヲ御朗讀デアリマスガ、ソレハ即チ出來ルコトデアラバ
サウ云フ風ニスル積リデアルト云フコトヲ答ヘラレタコトト存ジマス、即チ
必ズ一ノ想像ヲ以テ此案ニ其當時ノ政府ガ同意シタノデアラウト思ヒマス、
併ナガラ事實ハ即チ變化シテ來タ、時勢ガ變ッテ來タ以上ハ國家ハ其時勢ニ
應ズルノ經畫ヲ立テナケレバナラスノデアリマス、此ニ於テ此稅ヲ廢スルト
云フコトガ出來ルナラバ、誠ニ結構ナコトデゴザイマスケレドモ、此稅ヲ廢ス
ト云フコトハ途ガ無イ、如何ニ御論ジニナリマシタ所ガ、此稅ヲ繼續セズ

ニ此國家ガ立チ行キマスカ、是ハ何人ノ罪デモアルマイト思フ、即チ此時勢ガ斯ノ如クニ變化シテ來タ以上ハ、國ハ其時勢ニ應ズルノ經畫ヲ立ツルト云フ外仕方無イノデアリマス、是ダケ御答イタシテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 今ノハ本員ノ質問ニ對シテノ阪谷大藏大臣ノ答辯デスカ、如何デス、答辯ナラ私ハチヨト質問シタイノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 伊達男爵、モウ少シ大キナ聲デ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君 今大藏大臣ガ演壇ニ於テ述ベラレタコトハ、本員ガ先キホド述ベマシタ所ノ質問ニ對シテノ御答デアルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ左様ナ答ヲ致ス義務ハ無イト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 答ヘラレタノデアルカ、自分ノ希望ヲ述ベラレタノデアルカ

○議長(公爵徳川家達君) 其御判断ハ伊達男爵ニ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君 然ラバ私ノ答トシテ質問イタシマス、幾度伺ッテモ同ジコトデ、最早私ハモウ口ヲ閉ヂヤウト思ヒマスガ、唯今ノ御意志ヲ聞ケバ遺憾ナガラ、モウ一言ヲ致サナケレバナラナイト云フコトニナリマシタ、ソレハ何デアアルカト云フト、唯今大藏大臣阪谷君ノ言ハレタ

「モウ少シ大キイ聲デ願ヒマス」ト呼ブ者アリ

其當時ハ出來ルダラウト思ッテ賛成シタ、ソコデ今度果シテ出來ルコトト信ジテ居ルナラバ、想像デアッテ同意セラレタ、斯ウ云フヤウニ御述ベニナッタト思ヒマスガ、今度限リ簡單ノコトデアリマスカラ、ソレダケヲモウ一遍自席デモ宜シウゴザイマス、御答ヲ願ヒマス

「國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル」

○國務大臣(阪谷芳郎君) 先刻此所デ述ベマシタコトハ最早御了承デアリマスコトト考ヘマス、最早其以上ハ

「男爵伊達宗敦君唯今私ガ」ト述ブ

○議長(公爵徳川家達君) マダ伊達男爵ニ發言ヲ許シマセヌ

「桑田熊藏君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵徳川家達君) 桑田君ハ御質問デスカ

○桑田熊藏君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 桑田君

○桑田熊藏君 大藏大臣ニ御質問ヲ致シタイ、大藏大臣ハ此法案ノ審査ノ條件ト致シマシテ、即チ非常特別稅ヲ永久ニスルノ條件ト致シマシテ稅法調査會ヲ設ケテ向フ二箇年内ニ稅法ノ改良ヲ行フト云フコトヲ明言サレマシタ、然ルニ此衆議院ニ於テ非常特別稅ニ關スル修正法案ガ二三出テ居リマス、此非常特別稅ト云フモノハ、咄嗟ノ際ニ出來タモノデアリマスカラ、課稅ノ公平ニ於テハ彼是斟酌シテ是ハ修正ヲスベキモノデアアル、然ルニ政府ハ一方ニ於テハ稅法調査會ヲ設ケテ戰時稅ヲ根本カラ審査ヲシヤウト云フ公約ヲシナガラ、一方ニ於テハ修正法案ヲ衆議院ニ出シテ居ル、シテ見マスルト云フト、政府ガ稅法調査會ヲ設クルノ真意ハ焉クニアルカ甚ダ懸念デアアル、甚ダ疑問デアアル、政府ノ行動ハ少シク矛盾ハシヤシナイカト考ヘマスガ、此儀ヲ質問イタシマス

「國務大臣阪谷芳郎君演壇ニ登ル」

○國務大臣(阪谷芳郎君) 政府ニ於キマシテハ衆議院ニ於キマシテ明言イタシマシタ通り、此非常特別稅ノ全體ニ就キマシテノ調査會ヲ設ケテ慎重ニ審議ヲ致シマスル考ヘデゴザイマス、併ナガラ既ニ今日マデニ調査ノ出來タモノガゴザイマス、其中ニハ豫テ稅法通過ノ際ニ衆議院カラノ希望ノアッタモノガゴザイマス、是等ノ如キモノハ調査會ニ付セズニ此議會ニ提出イタシマスルノデ、即チ其二三ハ既ニ出テ居リマス

○子爵曾我祐準君 段々時間モ經チマスガ、最早質問ガ盡キマシタナラバ討論ニ移ルヤウニ相成リタク考ヘマス

「子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公爵徳川家達君) 谷子爵ノ登壇ヲ促シマス

「藤田四郎君」一讀會ハ、修正案ナラドウカニ讀會ニ願ヒタイ、全體ノ廢案ナラ宜シウゴザイマスガト述ブ

○子爵谷干城君 御聽キ下サイマシ

「子爵谷干城君演壇ニ登ル」

○子爵谷干城君 私ハ此非常特別稅ヲ此儘繼續ト云フコトニハ絶對ニ反對デアアル、寧ロ是ハ谷ノ言デハナイ、天ノ言デアラウト思フ、天ニ口無シ人ヲシテ言ハシム、多數ノ人民ノ天ヨリ示ス所ノ言ト自分ハ深ク信ジテ居ル、抑、此度ノ大戰爭ニ於テハ固ヨリ海陸軍人ノ勇戰奮闘其功ヲ奏シタリトハ雖モ其實ヲ推セバ、祖宗神靈ノ加護セラル、所ノ即チ神ノ力デアアル、ソレ故ニ人民ニ

於テモ内ハ壯丁三人アル者ハ皆鋤ヲ抛チ業ヲ捨テ、カラニ從軍ヲシタノデアリマス、又其困難ナル小工、小農ナドニ至リマシテハ、此生活ノ困難ヲモ堪ヘ忍ンデカラニ此大功ヲ奏シタ、是全ク深く國ニ盡シ、信ズル所ガアッタノデ、大業モ成ッタノデアル、又此際ニ或ハ公債ニ應ジ或ハ出征者ノ遺族ノ者ヲ救ヒ、種々難多ノ力ヲ盡シタト云フモノハ、一ハ此戰爭ノ結果トシテ國家ノ存亡ニ關スル譯デアアルカラシテ、何知ラヌ者マデモ皆必死ニナツテ、其功ヲ奏シタ、其際ニ當ツテ國家ノ一番困難スルモノハ何デアアルカト云フト財政デアアル、ソレデ私ガ前日モチヨット申シタ通り食ヲ足シ、兵ヲ足シ、ドウシテモ此兵食ト云フモノガ十分アリマセネバ、如何ニ兵數ガ澤山出來マシテモ戰ヒハ忽チ敗北ヲスルノデ、例ヘテ言ヘバ大キナ軍艦ガアリマシテモ、石炭ガ無ケレバ動かヌト同ジコト、假令如何ナ勇士デ見テモ食ハズニ居テハ働クコトガ出來ナイノデアアル、ソレ故ニ留守ヲシテ居ル者ハ出來ヌ公債ニモ應ジ、又此非常特別稅ト云フ謂ハユル非常ナ苛酷ノ稅デアアルケレドモ、命サヘ差出シテ戰爭ヲシテ居ル際デアアルカラシテハ、何ヲカ言ハウ、實ニ泣イテ是ハ忍ンデ居ル稅デアアル、其稅ノ中ニハ種々アリマスケレドモ、殊ニ此田畑地租ト云フモノハ世界無比ノ酷稅デアアル、若シ私ガ斯ウ申スト、ソレハオ前達フ、マダソレヨリ酷ナコトガアルト云フコトガアレバ、ドウゾ擧ゲテ御示シテ願ヒタイ、ソレデ各國皆不動產ト云ウテ、土地ハ非常ニ尊重スルモノデアアル、アルニ拘ラズ日本ハドウデゴザイマセウ、段々貴族ト云フ御方ハ澤山アリマスガ、土地ヲ持ツテ居ル方ガドノ位アル、株券或ハ公債ト云フモノニ依ッテ大分裕福ナ御方ハ澤山アルガ、土地ト云フコトニナツタラ、東京ノ屋敷地ハイザ知ラズ田舎デ麥米ノ收レル土地ヲ澤山持ツテ居ル御方ハ私ハ殆ド無カラウト思ヒマス、ナゼ無イカ、畢竟利益ニナラヌ、國稅ガ非常ニ嵩ム、ソレニ持ツテ來テ附加稅ガ附イテ居ル、又地ト云フモノハカケ易イモノデアアルカラシテ、遂ニ何モカモ地價ニ割當テガフト云フモノデアアルカラ實ニヤルセガ無イ、ヤルセガ無イカラシテ金持ノ諸君ニ於テモ土地ハ閉口ダト、斯ウ云フコトニナツテ居ル、ソレデ唯縊メラレル者ハ小農者ガ非常ニ縊メラレテ居ルガ、併シ今度ノ戰爭ニ此小農者ト云フ者ガ澤山無クツテ、工業者バカリデ此戰爭ヲヤッタラ是ガ堪ヘラレルカ、内デハ五段百姓ガ壯丁ニハ取ラレタケレドモ、併ナガラ近所ノ者ガ寄ツテ世話ヲシテヤリ、又女子供デ土地ヘ植付ケテカラニ食物ヲ拵ヘルコトガ出來タカラ二年ニ互ル戰爭ガ出來タ、若シ是ガ商

工業ノ國デアッタラモウ戰サハ終ヒデ、仕方ガ無イヤウニナルト私ハ信ジテ居ル、是ハ農業ノ上ニ國家ヲ立テ、居ル所ノ政府、是ガ安固ナル所以デアアル、所ガ此稅ハ今申ス通り非常ナ苛酷ナモノデアアル、明治十八九年カラ二十三年マデ備ウテ居ツタ獨逸ノ博士ノマイエットト云フ人ハ其時分ニ、斯ノ如ク農業者ヲイデメテハ逆モ國ハ立チ行カヌ、ソレデ所得稅、營業稅ノヤウナモノヲ起シテ此農民ヲ救ハネバナラヌト云フコトマデ論ジテ居ル、ソレデ多數ノ國家ニ貢獻シタモノヲ擧ゲテ言ヘバ即チ農民ガ多數デアアル、ソレデ唯是ガ戰時稅ト云ウテ期限ガアルカラシテ、ヤット堪ヘテ先ヅ之ヲ賣ラズニ持ツテ居ッタラ亦肩ノ休ム時ガアルカラト云フコトデ堪ヘテ居ル、サナクトモ地價ト云フモノハ非常ニ安クナツテ、土地ヲ持ツテ居ル者ノ財產ハ減ツテ居ル、ソレニ持ツテ行ツテ此酷ナ稅ヲ負ハサウト云フコトニナツタラ、金持ハ皆地方ヲ去ツテ夥シイ公債ガ出來タカラ、公債ニ依ツテ安穩ニ暮シテ、サウシテモウ農民ハ稅ニ堪ヘラレヌヤウニナツテカラニ、皆四方ニ散亂スルト云フコトニナル、之ヲ繼續スレバ地價モズツト安クナル、國家ノ經濟ト云フモノハ、マルデ紊亂スルト私ハ信ズル、其他此前年ニモ論ノアリマシタ相續稅ノ如キモ詰リ日本ノ國體習慣ニ伴ハナイ稅デアアル、ソレ等ハ前年ニモ此議場ノ多數ノ諸君ハ修正ヲ加ヘヤウトマデ仰シヤツテ衆議院ト衝突スルマデモ殆ド之ヲ固持セラレタコトハ御承知ノコトデアアル、成ルホド大藏大臣ノ申サレタヤウニ、時ト勢ニ依ツテハ已ミヲ得ヌコトガアル、ソレハ本員ナドモ認メテ居ル、ソレデ拘子定規ニ我々ハ理窟ヲ言フノデハナイ、ナイガ今ノ此政府ノ經畫ヲ見テ見マスト中ニ其我々ハ信ジラレナイ、信ジラレナイト云フモノハ、外ニ隨分其人民ヲ是ホドマデニ苦メズシテモ隨分財政ヲ節儉スル所ガアルデヤラウト思フ、チヨット證據ヲ擧ゲテ見マシテモ、タッタ僅カノ間ニ五百萬圓ト云フモノヲ節減スルコトガ出來タ、又真正ニ此我財政ガギツチリトモ動カナイト云フナラバ、如何ニ平和克復ニナツタカラト云ウテモ、新事業ヲ起シ、又不急ナル事トシタルモノハ暫ク中止シテアッタモノマデモ之ヲ回復スルコトハ出來ナイ理窟デアアル、ソレニモ拘ラズ段々新事業費モ起ツテ來ル、又我々不急に認メル所ノ鐵道モ再興スルト云フコトデアアル、甚シイニ至ルト、一割以上ノ利益ノアル會社ニモ保護ヲ與ヘルト云フコトモ聞エルノデアアル、ソレデ又一方ニハ衆議院ノ諸君ノ中ニハ國力培養ト云ウテ新ニ金デモ出シテカラニ使ハウト云フ思召ノ方モアルヤウデアアル、若シ國力培養ヲ御希望デア

ルナラバ、此非常特別稅ヲ廢シタナラバ非常ナル國力培養ニナル、私ハ此案ハ衆議院ニ於テ十分御討論ニナリ、又衆議院ノ諸君ガ直接ニ人民ヲ、代表シテ居ラル、方デアアルカラシテハ、此人民ノ有様ハ御承知デアアルカラ、十分御議論ノアルコトト信ジテ居ッダガ、豈圖ラム衆議院多數ノ御方ハ之ヲサツサト御通シニナツタ、茲ニ至ッテドウモ一ツ此貴族院ニ於テ之ヲ矯正セズンバ、我殆下五千萬ノ人民ハ訴フル所ガ無イ、依テ即チ我々ハ天ノ命ヲ受ケテ茲ニ論ズルノデアアル、若シ之ガ理由ガアレバ宜シイ、理由ナシニ之ヲ通スト云フコトハ諸君ハ天命ニ背クト云フモノデアアル、ソレデ約束ハ約束デ履行スベシ、民信ナクンバ立タズ、我々ハ當總理大臣モ我々ノ言ヲ信ジテ居ラレル、耶蘇ヲ奉ジラレル方カ又ハ佛ヲ奉ジラレル方カハ知ラヌケレドモ、何シロ嘘ヲ言フモノデアナイト云フコトハ信ジテ居ラレル、スレバ今後此約束ヲ破ッテ戰時ダケダゾト云ウテ期限ヲ附ケテ置イタモノヲ、金ガ無イカラ繼續スルト云フコトニナレバ、即チ是レ嘘ヲ言フノデアアル、先ヅ貧乏ヲシテ金ヲ借ルニシタ所デ、約束ダケノ金ハ拂フ、拂ウタラ第二ニドウモ困ルカラ貸シテ呉レト云ハ融通モ付ク、融通モ付クガ、之ヲ借ッテ置イテ、モウオ前ニハ返サヌゾヨ、永續ダ、返サヌ、斯ウ云フコトニ嘘ヲ言フヤウニナツタラ金ガ動クモノデアナイ、信義アッテ初メテ金ハ動クモノデアアル、日本ノ人民ガ斯ク信義ヲ失ツタ時分ニハ外國人モ日本人ハ當テニナラヌ、ア、言フコトデモ嘘ヲ言フカラ當テニナラヌ、却ッテサウ云フコトガ不信ヲ世界ニ示ス譯デアアル、ソレデ諸君、何分ニモ能ク御考ニナリマシテ、此後夥シイ公債モ募ラネバナラヌ、又此日本ノ外交上ハ私ドモノ眼カラ見レバ甚ダ拙劣ノ外交デアアル、サラバハヤ戰ヒガ起ルカモ知レヌ、其時ハ人民ハ政府ニ信ヲ置カズ、公債ヲ募ルモ公債ニ應ズルト云フコトヲシナカッタナラバ世界ニ耻ヲ曝スヤウニナル、ソレデ西園寺總理大臣ガ議場ニ於テ、衆議院ノ議場ニ於テ述ベラレタ所ノ筆記ヲ見レバ、誠意誠心デアアルト言ハレタ、誠ニ御尤デアアル、誠意誠心デアレバ斯ノ如キ見易イ人民ニ約束ヲシタコトヲ破ルト云フ、即チ人民ニ嘘ヲ言フノデアアルカラ、其誠意誠心ガ何處ニアルカ、ソレハ場合ニ依ッテ已ムヲ得ズ、嘘ヲ言ハネバナラヌ場合モ時トシテハアリマセウ、併ナガラ此非常特別稅ト云フモノハ即チ焦眉ノ急デ、茲デ人民ガ之ニ應ゼスト云フコトニナツタナラバ戰ヒノ勝敗ニモ關スル、ソレデ是ハ皆泣ク／＼應ジタ、ソレデサアヤット戰ヒモ濟ミ、平和克復デ新事業モ段々起ッテ來ル、中止シテアッタモノモ又ヤル、斯

ウナツテ其樂ンデ居ル所へ、ドッコイ是ハ貴様ニ返スベキデアルケレドモ、他ニ使ハネバナラヌカラ返スコトハナラヌ、永久返スコトハ出來ヌ、斯ウナル、人ハ變ッテモ政府ハ變ラヌ、成ルホド政府ノ役人ハ變ッテモ我々陛下ヲ戴キ奉ッテ居ル所ノ政府ハ變ラヌ、人ガ嘘ヲ言フハ勝手デアアルガ、自分ガ嘘ヲ言フト云フコトハ、ドウシテモ其意ヲ得ラレヌ、ソレデ法律デチャント此通り約束ヲシテ居ル、其方ヲチヨイ／＼ト變ヘテ約束ヲ破ルト云フコトニナツタラバ人民ノ手足ノ置キ所ガ無イ、況ヤ今申シタ通り此金持ノ諸君ナドガ地ヲ持タヌト云フハ人民ノ困難ノ證據デアアル、三百萬、四百萬、五百萬、一千萬ノ金持ハアリマスガ、之ニ相應スル大キナ地ヲ持ッテ居ル者ハ無イ、失禮ナガラ此多額納稅諸君ト言ヒマシテモ誠ニ田地ハ西洋ノガニ較ベテ見レバ極ク少イモノデアアル、是モ氣ノ利イタ人ハ早く賣リ飛バシテ仕舞ウテ株券ヲ持ツトカ何トカ云フコトニスル方ガ一時ノ經濟カラ云ヘバ宜イカモ知レヌ、併ナガラ斯ウナツテ來ルト此株ト云フヤツハ直チニ變ズル、日本ノ經濟ガ一ツ間違ッたら、ガラ／＼ト致シマス、戰後ノ財政ニ於テ或ハ百／＼フランノモノガ四十「フラン」ニモ落チタコトガアル、是ハ諸君歴史上デ御合點ノコトデアアル、サラバ我此財政ノ行末モドウナルカ我々ハ痛心ニ堪ヘヌノデアアル、ソレデ私ハ決シテ大藏大臣ヲ御責メ申スノデハナイ、大藏大臣ガ此艱難ノ所ニ御立チニナツテ之ヲ斡旋セラル、所ハ實ニ感佩ニ堪ヘヌ、私ハ委員會デモ言ウタ、若シ谷ガ財政ヲ經畫スル力ガアッタナラ、迎モ是ハ出來ルモノデアナイ、ソレデ此點ニ於テハ私ハ大藏大臣ヲ決シテ御責メ申サヌ、ソレデヤニ依ッテドウゾ廢スルモノハ、スツカリ約束通り廢シテ、サウシテ信義ヲ立テテ、斯ウ云フ譯デアアル、ヤツテ見テモ足ラヌカラ、ドウゾ是ハ通過シテ貫ハナケレバナラヌト云ウテ、別ニ法案ガ出マシタラバ其時ニハ或ル種類ノモノニ就テハ私モ喜ンデ贊成スルコトニナルカモ知レヌ、ソレデ之ヲ要スルニ一時、戰時稅ト云フノデ俄ニ拵ヘタ稅法デアアルカラ、モウドレモ彼レモ不完全ニ相違ナイカラ、幸ヒト約束ダケハ堅ク御守リニナツテ、サウシテドウゾ速ニ後ノ經畫ヲナサル、ガ宜カラウト思フ、ソレカラ又薄ク承ル所ニ依レバ、貴衆兩院其他ノ人ヲ集メテカラニ租稅ノ取調ノ委員ヲ拵ヘテ議スルト云フヤウナコトモ聞エルガ、若シサウ云フコトヲナサレルナラバ、憚リナガラ愚ノ至リデ、迎モソレハ出來ルモノデアナイ、總理大臣モ先日言ハレ、又大藏大臣モ言ハレタガ、他ニ無イ、迎モ無イト云フノデヤカラ之ヲソチコチ御イヂリニナツタ所ガ出來

ハセヌ、ソレガ若シ報酬デモヤルト言ヘバ委員ガ喜ブカモ知ラヌガ何モナラヌ、唯委員ヲ作ッテ調査スルト云フ名ノミデ、人民ヲ絞ル一ノ方法ト云フノ

ミニ止マル、大分述べタイコトモ澤山アリマスケレドモ、最早私ハ大抵デヨシマスガ、何分此多數ノ諸君ハ先年非常特別税ノコトヲニ同ツタ場合ニ段々

修正説ヲ御出シニナリ、ソレガ爲ニハ殆ド衆議院ト衝突モシサウナ勢ニマデモ進ンダコトハ固ヨリ御記憶デアリマセウ、スレバドウゾ此際色々組合デ御

相談モアツタユエ、固マッテハアリマセウケレドモ、此事柄ハ衆議院ニ於テ等閑ニナッテ來テ人民ニ不信ヲ示シタ、ソレヲ此貴族院デ喰ヒ止メルト云フガ

貴族院議員ノ精神デアアル、大事デアアル、政府ヲシテ多數ノ人民ニ嘘ヲ言ハシメメト云フコトハ貴族院議員ノ職務ト私ハ考ヘル、ドウカ是マデヒドク御固

メニナッテ居ル方ハ御再考ニナリマシテ、サウ急グコトモアリマスマイカラ能ク御考ニナリマシテ政府ノ過ヲ救ウテヤルト云フコトヲ、ドウゾ御考ヲ願ヒ

タイ、ソレデ是ガイケマセスト段々アトカラ來ル困難ガアル、即チ政府ハアテニナラヌト云ウテ直グニ是ハ障害ガ起ル、殊ニ是カラ先キハ泣ク、デモ

公債デヤッテ行カナケレバナラヌガ、一遍金ヲ借ッテ者ガ借り取りニシテ、モウ返サヌト云フ、斯ウ云フコトニナッテ參リマシテハ、人民モ金ヲ出シハセ

ヌヤウニナル、詰リサウ云フコトニナルト唯々山師、ソレカラ銀行家ト云フヤウナ者ガ頗ル不正ノ利ヲ得ルニ止マッテ真正ノ良民ハ困難ノ位置ニ落チル

ノデアアル、ドウカ御再考ニナッテ、是ハ中途デ御ヤメニナルカ、若クハナラズバ斷然ト政府案ヲ廢棄ニ御賛成ニナルコトヲ希望イタシマス、若又別ニ是

ニ良イ御修正デモ出ルナラバ、場合ニ依ッテハ私モ又贊成ヲスルカモ知レヌ、何シロ之ヲ要スルニ甚ダ不都合デアアルカラ信義ハ保タナケレバナラヌト云フ

精神デアアル、先ツ今日ハ是デ、

〔子爵板倉勝達君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 板倉子爵ハ何デスカ

○子爵板倉勝達君 谷子爵ニ質問ガアリマス、段々御説明ヲ承リマシテ感服

イタシマシタガ、簡單ニ申シマスレバ谷子爵ハ此案ノ廢案ノ御論デゴザイマ

スカ、唯希望ヲ御述ベニナッテ廢案デハ不都合デアアル、唯此箇條ヤ何カノ修

正ヲシタイト云フ御希望デアアルカ、其二箇條ヲ承リタイ

○子爵谷干城君 廢案ガ趣意デゴザイマスガ、若シ何ゾ良イ御考ガアラバ承

ラウト申スダケデ……

〔子爵板倉勝達君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) マダ發言中デアリマス

○子爵谷干城君 ドウシテモ廢案セネバナラス、廢案ヲセネバ趣意ガ立タヌ

ト云フノデアリマス、兎モ角モサウ御聽取リヲ願フ、嘘ヲ言ウテハナラヌ

○子爵板倉勝達君 今一應申シマス、私モ是ハ廢案ガ大賛成、惡稅惡稅ト云

フコトハ私初メ谷子爵モ能ク……皆同様ダラウト思フ、唯政府ノ方ニ於テ惡

稅ト云フコトヲ認メタ名ノ如ク……非常特別税ト云フコトデ已ムヲ得ズ其時

分ノ考モ他ニドウモ財源ヲ求ムル所ナクシテ惡稅ナガラモ之ニ據ル外ハナイ

ト云フコトカラ法律ガ出來タコトト思フ、唯廢案ダトカ惡稅ダトカ云フコト

ハ誰モ言フコトトドウカ谷子爵ニ於テ廢案ニナツタナラバ、是マデ使ツタ金ヲ

償ウテ行ク途ガナイ、其行ク途モナク財源モ出サズシテ惡稅ト云ウタ所ガ納

マラス、私ハ却ッテ斯ウ云フ良稅ガアル、ソレヲ措イテ此惡稅ヲ取ルト云フノ

ハ政府ニ所信モナク民ニ信ヲ失フト云フノデアレバ分ッテ居ル、何モ財源ヲ

出サズシテ是ハイケナイ、是ハ政府ニ於テモ他ニ財源ガアルナラバ此惡稅ハ

出サヌ、政府ノ考ヘデモ何モ無イカラ已ムヲ得ズ出シタモノト思フ、ドウカ谷

子爵ニ於テ御名案ガアレバ他ニ良稅ガアルトカ、今御話ノ地價ニハ農民ガ困

ル、公債ノ方ニ依ッたら宜カラウト云フ考ガアルナラバ、ドウカサウ云フ所

ハ修正案ヲ立テルニモ斯ウ云フモノガアルト云フ財源ヲ案ジテ戴キタイ、其

御名案ガアルカナイカ……

○子爵谷干城君 板倉君ニ御答イタシマス、ソレハ大變ナ方角違ヒデアアリ

マセスカ、私ハ議員デアッテ惡イコトナラバ惡イト言フ、斯ウナサレ、サウナ

サレ、之ヲ以テドウナサレト云フ、ソレハ當局者ノ行政上ノ事柄デ、ソナコ

トハ議員ト云フモノハ言フモノデナイ、爲ルモノデナイ、是ダケノコトヲ……

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言モ無イヤウデゴザイマスカラ、此法案

ヲ二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ

起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 多數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ハ……

○子爵岡部長職君 本案ノ二讀會ハ本日引續イテ御開キニナリマスコトヲ希

望イタシマス

〔贊成ト呼ブ者多シ〕

〔三浦安君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 三浦君ハ……

○三浦安君 是ハ餘程議論ノアル案デゴザイマスカラ、直グニ二讀會ヲ續ケルコトハ甚ダ匆卒ニ失スルト存ジマスカラ、直グニ二讀會ヲ開クコトハ宜シクナイ、不同意

○議長(公爵德川家達君) 岡部子爵ノ本日引續イテ二讀會ヲ開クト云フ動議、其動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス、是デ午前ノ會議ハ終リマス、休憩ヲ致シマス

午前十一時五十三分休憩

午後一時六分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、今朝御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス

〔仙石書記官朗讀〕

作業會計法中改正法律案特別委員

子爵高野 宗順君 子爵有馬 頼之君 男爵沖 守 固君

男爵小野 尊光君 男爵辻 健 介君 原 保 太郎君

吉野 周太郎君 辰 巳 樽太郎君 伊 藤 長次郎君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ非常特別稅法中改正法律案ノ第二讀會ヲ開キマス、第一條ヲ問題ニ供シマス、原案デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無イト認メマス、第二十七條ニ移リマス〔左ノ修正案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

非常特別稅法中改正法律案第二十七條修正動議
右議院法第二十九條ニ依リ提出候也
明治三十九年二月二十一日

發議者 子爵會我 祐準 澤原 俊雄
贊成者 公爵二條 基弘 外四十一名

貴族院議長公爵德川家達殿

第二十七條ヲ左ノ如ク修正ス

第二十七條 本法ハ明治四十一年三月三十一日限之ヲ廢止ス

〔子爵會我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵會我祐準君 諸君、本員ハ此第二十七條ノ修正案ヲ提出シマシタル提出者ノ一人デゴザイマス、此修正文ハ皆サンノ御手許ニ差上ゲマシテ置キマシタ通り、本法ハ明治四十一年三月三十一日限之ヲ廢止ス。原案ハ御承知ノ通り白紙ニナツテ來テ居リマスルガ、此處ニ斯ウ云フ文字ヲ加ヘテ一條ヲ置カウト云フ、斯ウ云フ案デゴザイマス、本稅法ノ議院ニ提出セラレマシタ頃ハ諸君御承知ノ通り三十七年三月頃デアリマシタ、當時ハ如何ナル有様デアッタカ、回顧シマスレバ當時ハ我海軍ハ旅順ニ於テ屢、閉塞ヲ試ミ必シモ成功トバカリモ行キマセズ隨分苦心ノ折柄デアリマシタ、例ノ驅逐艦ノ接戰ガアツテ舷々相摩スルト云フ諸君ノ御耳ニモ尙存シテ居リマセウ、其時期デアリマス、陸軍ハ如何ニ、我陸軍ハ未ダ韓國ノ北ノ方マデ進ンデ未ダ鴨綠江ヲ渡ラザル以前デアリマス、其時ハ諸君、海陸軍ノ前途如何、世界ニ名高キ大國ノ露ト隙ヲ開イテ此先キ如何ニナラウカ、實ニ人心、何人モ前途ヲ憂ヒテ居ル最中デアリマス、此時ニシテ此法案ハ始メテ出マシタ、法案ガ出テ即チ稅法トナツテ行ハレマシタ、而シテ其後、大ナル修正ヲ加ヘラレマシタ、寧

口修正ト言ハムヨリモ大ナル増額、即チ増稅ニナリマシタ、ソレハ何時デア

ル、三十八年一月デアリマス、此時ヲ又回顧シマスレバ非常ナ難苦闘ヲ以

テ漸ク旅順ハ我が有ニ歸シマシタト雖モ、未ダ奉天ハ我が有ニ歸シマセヌ、

諸君モ御記憶デゴザイマセウガ、敵ノ猛將ミスチエンコガ非常ナ大部隊ノ兵

ヲ以テ我左翼ニ廻テ牛家屯、牛莊近所マデ打込ンダ時デアリマス、サウシ

テ日ミニ敵兵ハ益々加ハツテ四十万ニ至ルトカ、五十万ニ至ルトカ、百万ニ至

ルトカ云フ説ガ盛ニ行ハレタ時分デアリマス、而シテ我日本軍ハ比較的少數

デアルガ爲ニ國民軍マデモ此時分ハ召集シマシタ、即チ豫備後備盡キテ國民

軍ニモ及ンダ時期デアリマス、サウシテ東京ハ毎日、號外號外ヲ以シ滿タサ

レテ居リマシタ、日ニ二度モ三度モ號外ガ出ル、何事ヲ措イテモ一般ニ號外ヲ見ルト云フ有様デアアル、幸ニシテ連戰連捷トハ云フモノノ相手ハ大國デア
ル、兵數ニ於テ如何アラウカ、金力ニ於テ如何アラウカ、斯ノ如キ時ニ於
テ此法律ハ大修正ヲサレタノデアリマス、是ハ諸君疾クニ御承知デアリマセ
ウガ、實際ハ左様デアリマス、而シテ此時ハ海軍ハ如何ト云ヘバ例ノバルチ
ツク艦隊ハ日ニ東洋ニ向ッテ歩ヲ進メ段々近ツク時デアリマス、浦鹽艦隊
モ動モスレバ日本海ニ現ハレ或ハ東海マデモ出タト云フ時期デアリマス、然
ルニ斯ノ如キ時期ニ出タ税法ニシテモ尙二十七條ヲ加ヘテ平和克復ノ後ハ止
ムルゾヨ、戰爭デ萬々已ムヲ得ヌニ依ッテ此法律ハ出スガ、平和克復ノ後ハ
止ムルト云フ保障ヲシテ出シタノデアリマス、然ルニ幸ニシテ大敵ニモ勝ツ
コトガ出來マシタ、平和克復ヲ見ルコトニナリマシタ、然ルニ今日ニ於テ此堅
キ約束、即チ克復ノ後ハ止ムルト云フ約束ヲシタ法律ヲ何ノ遠慮モ無ク殆ド
陷レタルガ如ク、瞞シタルガ如ク、唯此一條ヲズット棒ヲ引イテ、ソレ又之ヲ
ヤルト斯ウ云フ話デアリマス、實ニ是ハ不法ト言ハウカ、亂暴ト言ハウカ、又
ハ詐欺ト言ハウカ、實ニ當時ノ契約カラ言ヘバ忍ビヌ答デアリマス、前キニ申
上ゲタルヤウナ形勢ノ時分ニ發セラレ、前キニ申シタル如キ有様ノ危急存亡
ノ秋ニ修正サレ、サウシテ其時デサヘモ平和克復ノ後ハ此非常ナル稅ハ止ム
ルゾト云フ、斯ウ云フ保障ノ下ニ出タ法律ガ平和克復ノ後ハ知ラヌ顔ヲシテ
唯此一條、二十七條ヲ削ッテ、ソレデ之ヲ永久ノ稅ニ引直スト云フコトハ決シテ
忍ビナイ話デアアル、政府モ決シテ之ヲ好ンデヤラレルノデハナイデアリマセ
ウ、總理大臣モ委員ノ席ニ出テ實ニ是ハ困ツタ案デ、實ニ我々モ頭ヲ惱マシ
タ、ドウゾ是ハ忍ンデ呉レト云フ御話ガアリマシタガ、決シテソレハ好ンデ
サレル事デモアルマイト思フノデアリマス、ソレデ此論旨カラ申シマスレバ
私モ全然、否決論ニ贊成ヲ致サネバナラヌノデアリマス、サリナガラ此大戰爭
ノ爲ニ非常ナル借金、即チ十八億ト云フ國債ヲ拵ヘマシテ、是亦亂平イダ後
ノ大事件デアリマス、内外人民ニ借ツタル金ヲ返サズニモ濟ミマスマイ、ドウ
シテモ是ハ仕方ナイ、返サナケレバナラヌ、返スニハ財源モ要リマセウシ、
又陸海軍ノ復舊ヲ始メ種々ノ事ニモ金ガ要リマセウ、財源ヲ減ズルコトハ甚
ダ好マシクナイ、好マシクハナイガ、又之ヲ此ノママ瞞シ討チニスルト云フ
ノモ實ニ本意ナラヌ次第デ、諸君モ御同感デアラウト思ヒマス、ソレ故ニ斯
ノ如キ修正ヲ致シマシテ、即チ一箇年三箇月ノ延ビニナリマスガ、此一箇年

三箇月ヲ延バシテ、其中ニ豫テ政府デモ明言サレル如ク十分ノ調査ヲ以テ廢
スベキハ廢シ、新ニ起スベキハ起シ、サウシテ之ヲ普通ノ稅ニ引直ス、斯ノ
如クシタイト云フノ案デアリマス、元來當局者ハ惑フト云フ語ガアリマス
ガ、此戰後ノ經營ニ當ッテ居ラレル所ノ大藏大臣ヲ始メ當局者ハ此非常ナル、
十八億ト云フ非常ナル借金ノ爲ニハ當局者ハ惑ハレタニ相違ナイ、戸惑ヒラ
シテ居ラレル、或ハ其常識ヲ缺イタカモ知レナイ、斯ノ如キトキハ我々議員タ
ル者ハ冷靜ナル頭腦ヲ以テ左右ヲ考ヘ、前後ヲ考ヘ、頭ヲ冷カニシテ執レガ
是デアルカト云フコトヲ考ヘルノハ即チ諸君、我々ノ任デアラウト思ヒマ
ス、當局者ガ惑フモ無理ハナイ、斯ノ如キ大借金ヲ引受ケテ天下ヲ：此先
キヲ經營スルコトハ實ハ迷惑極マルコトデアアル、當局者ガ惑フノハ無理デナ
イ、當局者ガ惑ウタ時分ニハ我々議員、局外タル議員ガ冷靜ナル頭ヲ以テ、
政府ヲシテ怨ヲ民ニ増サシメズ民ヲシテ望ヲ政府ニ絶タシメズ、此兩者ノ間
ニ居ッテ此ノ治者、被治者ノ間ヲ調和シテ行クノガ議員諸君ノ任務デアラウ
ト本員ハ堅ク信ズルノデアリマス、故ニ本員等ハ同志諸君ト申合セマシテ、
此修正ヲ提出イタシマシタ、是ハ一年三箇月バカリヲ延バシ、サウシテ其間
ニ適當ノ修正ヲサセシムルト云フコトガ一ツ、ソレト同時ニ政府ハ民ニ信義
ヲ失ハシメズ、民ヲシテ政府ヲ怨マシメズ、此間ヲ能ク和衷サセテ行カシメ
ルニモ是ガ一番良イ法ト思ヒマス、且ツ其上ニ時間ヲ付ケマス、當局者モ
此時間ノアル爲ニ益、其責任ヲ重シジテ等閑ニセズ、四十一年三月前ニ整
理スベキモノハ悉ク稅法ヲ整理スルデアラウ、一方ニハ餘計ナ事ノヤウデア
ルガ、是モ亦一ツノ利益ト思フ、時間ヲ付ケタ方ガ兎角保障ノナイ、アッテモ
或ハ時間ヲ誤ルガ此時ヲ限ルト云フコトハ餘ホド嚴重ニシテ置カスト等閑ニ
ナッテ何時ノ間ニカ等閑ニナル、一日延ビ二日延ビルト云フコトニナルト思
ヒマスカラ、政府ハ二箇年、調査局ヲ置イテ調査シテヤルト云フ話デアリマ
スガ、果シテ是ガ出來ルコトデアリマスカ、出來レバ結構ダガ或ハ延ビルカ
モ知レヌト私ハ今日ヨリ心配スルノデアリマス、斯ノ如ク法律ニ制限ヲシテ
アレバ此修正案ノ如クスレバ、ソレヲ等閑ニスルコトモ出來ヌト云フ一ツノ
保障ニナッテ最モ宜カラウト思フノデアリマス、諸君ノ中ニオ前達ノ云フ論
モ矢張り元ノ通りデハナク一年三箇月延ビルデヤアナイカ、サウスレハ謂ハ
ユル五十歩百歩デヤナイカト云フ御議論ガアリマセウ、如何ニモ五十歩百歩
デアリマス、併シ五十歩ト百歩トドッテ宜イノカ、孟子時代ニハ五十歩ヲ

以テ百歩ヲ笑ハバ如何ト云フ漠然タル論ガアリマシタガ、今日デハ五十歩ト百歩デハ違フ、一年ニナルノト二年ニナルノトドツチガ宜イカ、一年三箇月延ビルト云フノト無期限ニ延ビルトハ五十歩百歩ノ違ヒデナイ、歩ヲ以テ數ヘレバ一歩ト百歩、千歩、萬歩ノ違ヒガアルト思ヒマス、決シテ五十歩百歩ナリト云ツテ此案ヲ侮ルコトハ出來ヌト思ヒマス、況ヤ人間ト云フモノハ感情ノ動物デアリマスト云フコトヲ知ラナクテハナラス、血ノアルモノデアリマス、人間ハ決シテ器械トハ違ヒマス、軍馬倥偬ノ間ニ於テハドウシテモ之ヲ修正スルコトハ出來マセヌガ、軍馬倥偬ノ後、大經綸ヲ立ルト云フトキニ茲ニ僅カ一年三箇月ヲ延バスコトハ實ニ已ムヲ得ヌコトデアリマス、財源ヲ失ハヌガ爲メ一年三箇月ヲ延バスコトデアル、其後ハキツト改メルト云フ時期ヲ示シテ置クノト馬耳東風ノ如ク知ラヌ顔ヲシテ一條ヲ削ッテ澄マシテ居ルノトハドウ違ヒマセウカ、動物即チ血ノアル動物、感情ノ動物ナラバ其間ニ非常ノ違ヒガアリマス、是モ亦決シテ五十歩百歩ノ違ヒドコロシハナイ、一步ト千歩、万歩ノ其上ニモ違ヒガアラウト思ヒマス、眞ニ人間ハ感情ノ動物デアリマス、故ニ政府ノ方デモ今ノ儘デハ出來ナイカラ、已ムヲ得ズ一年三箇月ダケ堪忍シテ貫ヒタイト云フ心持デ延バシテ其内ニ修正ヲスルノト、知ラヌ顔ヲシテ之ヲ無期ニ延バスコト、ドウ違ヒシセウ、私ハ堅ク信ジマス、是ハ決シテ五十歩百歩ノ違ヒデハナイ、或ル論者ハ我々ノ論ニ反對シテ必ズ言ハレマセウ、斯ノ如クスレバ國債ヲ返還スル減債基金ノ元ヲ危ウスルト言ハレルデアラウ、是ハ大ナル僻論デアアル、大ナル愚論デアアル、假令減債基金ヲ年々契約ノ如ク一億一千万圓積ンデ置イテモ、一方ニ於テ一億三千万圓拂ッテモ又一方デ一億三億ト云フ借金ヲスレバ、日本ノ公債ト云フモノハ安クナルニ極ツテ居ル、是ハ頭隠シテ尻ヲ隠サヌト云フ話デ、幾ラ嚴重ニ此減債基金法ヲ守ッテモ他ニ借金ヲシタナラバ何ニモ役ニ立タヌ、日本ノ公債ガ此先キ世界デ價ヲ維持セラル、ノハ如何ナル點ニアルカト云ヘバ、此先キ日本ノ公債ヲ増スカ増サヌカニアルノデアアル、如何ニ此減債基金法バカリ行ハレテモ他ノ一方デドンノ借金ガ増シタラ公債ノ價ノ下ルコトハ極リ切ツテ居リマス、或ハ又我々ノ説ニ反對シテ縱シ曲ゲテオ前達ノ議論ニ從フトシテモ衆議院ガ之ヲ容レナイ時ハドウナルカ、是ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ來テ居ル案デアアル、之ヲ又修正シテ衆議院ガ容レナカッタ時分ニハ此案ハドウナルカ、刻下ノ財政ニ付テハドウナルカト云フ、斯ウ云フ御議論モアリマセウガ

ソレハ以テノ外ヲ愚論デアアル、斯ノ如キ愚論ハ此貴族院ノ演臺デハ言フベキコトデナイノデアアル、私ハ斯ウ言フ、衆議院ニ行ッテドウナルカト云フ心配ノ論ハ此演臺ニ永久禁止ノ札ヲ掛ケタイノデアアル、元來貴族院ハ活氣ニ乏シキ院ナルニ、斯ノ如キ恐怖病、或ハ沈鬱病ニ罹ッタナラバ、愈々益々何モ言ハレヌコトニナリマセウ、若シ衆議院ト異議ヲ生ジマシタ時ニハ色々ノ方法ガアリマス、既ニソレハ憲法ノ出來タ當時、議院法ノ出來タ當時カラ衆議院ト貴族院トノ衝突ヲ豫期シテアリマス、即チ協議會ト云フモノヲ設ケテアリマスカラ、決シテ心配ハ要リマセヌ、ソレデハ永久、ドウカ衆議院ガドウナルト云フコトニ付テ、コチラノ議論ヲ左右スル如キ愚論、僻説、或ハ臆病ナル愚論ハ永久、此席デハ言ハヌコトニ致シタウゴザイマス、以上ノ理由ヲ以テ願ハクバ諸君、此修正案ニ御同意アラムコトヲ希望イタシマス

〔子爵三島彌太郎君演壇ニ登ル〕

○子爵三島彌太郎君 日露ノ戰役ハ我國ニ非常ノ大戰争タルノミナラズ實ニ是ハ世界ノ大戰争デアアル、之ガ爲ニ生ジタル國債ハ實ニ十八億ニ達シ、之ニ在來ノ我國ノ國債六億ヲ加フルトキハ實ニ二十四億ノ巨額ニ達スルノデアリマス、即チ我國ノ國債ハ一躍シテ在來ノ四倍ニ達シタノデアリマス、而シテ是ガ利子ノミデモ一億一千万圓以上ヲ負擔シナケレバナラス、此戰爭ニ依ッテ生ジタル所ノ我國民ノ負擔ハ決シテ之ニ止マラス、即チ是ヨリ以後、軍人軍屬ノ恩給年金等ノ爲ニ更ニ三千二百萬圓ヲ支出シナケレバナラヌノデアアル、又軍艦兵器ノ復舊、其他ノ爲ニモ年々數千萬圓ノ金ヲ要スルノデアリマス、斯ノ如キ大負擔ヲ擔ヒ、斯ノ如キ難局ニ際シ、我國民ハ如何ニ之ヲ處スレバ宜シイノデアリマセウカ、實ニ今日ハ舉國一致シテ確乎不拔ノ一大覺悟ヲ以テ之ニ臨マナケレバナラス時デアアル、然シテ之ニ對スル經費支辨ノ方法トシテハ、今日ノ場合ニ於テハ此非常特別稅ヲ繼續スルヨリ外ニ途ハ無イノデアリマス、我國ハ今日モ尙非常ノ狀態ニアルト云ツテ宜シイ、此點ニ付テハ戰爭中ト今日ト甚シキ相違ハ無イノデアリマス、若モ此大戰争ヲ爲スニ當リ、我國民ニ増稅ヲ行ハズ、單ニ借金ノミニ依ッテ其戰費ヲ支辨シタルモノトシタナラバ、今日ハ現在ノ非常特別稅ヨリモ一層重キ特別稅ヲ新設シテ之ヲ負擔シナケレバナラスコトデアアル、然ルニ幸ニ之ガ成立シ國民ガ幾分其負擔ニ堪フル習慣ヲ生ジタル稅法デアリマスカラ、他日適當ノ財源ヲ見出しテ此稅法ニ適當ノ修正ヲ加フル時マデ是ニ依ッテ國家ニ必要ノ經費ヲ支辨ス

ルコトハ誠ニ已ムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス、反對論者ノ中ニハ此税法ノ繼續ヲ以テ公約ヲ無視スルモノデアルト云フ説ガアル、併ナガラ本員ノ信ズル所ハ之ニ異ツテ居ル、政府ガ獨斷ヲ以テ此税法ヲ繼續スルノデハナイ、之ヲ國民ノ代表者タル議會ニ諮リ、議會モ亦今日ノ場合ニ於テ我國民ガ其負擔シタル所ノ義務ヲ果タス上ニ於テ、即チ語ヲ換ヘテ言ヘバ我國民ヲシテ信ヲ天下ニ失ハザラシメ、信ヲ世界ニ失ハザラシムル爲ニハ、已ムヲ得ザルモノトシテ之ニ承諾ヲ與ヘタナラバ、其税法ヲ繼續スルニ於テ差支ナイノデア
ル、之ヲシモ公約ヲ無視スルト云フナラバ一旦制定シタル所ノ法律ハ皆永久
之ヲ變ヘル期ハ無クナツテ仕舞ヒマセウ、又我國ガ此度負擔シタル義務ノ中
ニ國債ノ償還ハ國家ノ信用ヲ維持スル上ニ於テ最モ必要ナル案デアルト云フ
コトハ申スマデモ無イノデアリマス、ソレ故ニ先キニ此減債法案即チ國債整
理基金法案ガ此議場ニ現レタ上ニ於テハ、我々議員ガ其必要ヲ認メテ直
チニ協賛ヲ與ヘタノハ國家ノ信用ヲ重ンズル最モ適當ナル處置デアッタト信
ジマス、此減債法案ハ減債方法ヲ規定シテ内外公債所有者ニ安心ヲ與ヘ、之
ニ依テ國家ノ信用ヲ維持スベキ最モ必要ナル法案デアアル、併ナガラ此法案ヲ
シテ確乎不動ノ性質ヲ帶バシムルニハ之ニ伴フ所ノ確定シタル財源ガ無ケレ
バナラス、法律如何ニ美ナリト雖モ、之ニ伴フ確實ナル財源ガ無ケレバ此減債
法案ハ一片ノ空文ニナリマスルノデアアル、然シテ之ガ財源トシテハ今日ノ場
合、此非常特別税法ニ依ルノ外ナイノデアリマス、假ニ減債法案ガ無カッタ
ニシテモ、此大戰爭中ニ起シタ所ノ國債十八億ノ利子八千三百万圓ト、恩給
年金ノ三千二百万圓トハ、如何ニシテモ支出シナケレバナラス、此點ヨリ見
テモ此非常特別税ヲ廢スルコトハ出來ナイノデアリマス、此點ニ付テハ諸君
疾クニ御認識ニナツテ居ルコトト信ジマス、然ルニ反對セラル、所ノ諸君ハ、
之ヲ修正シ之ニ附スルニ二箇年ノ年限ヲ以テシ、其間ニ於テ政府ヲシテ適當
ノ修正ヲ行ハセヤウト主張セラル、此非常特別税法ハ戰時匆卒ノ際、制定シ
タモノデアリマスカラ、之ニ適當ノ改廢ヲ加フルコトハ最モ同意ヲ表スル所
デアリマス、併ナガラ之ニ年限ヲ付スルト云フコトハ、是ハ奇道ヲ踏ムモノデ
アル、結局無意味ニ終ルコトト信ジマスカラ、本員ハ遺憾ナガラ之ニ同意ヲ
表スルコトハ出來ナイノデアリマス、何トナレバ假ニ修正ヲシテ兩院ガ同意
シテ成立スルトシテモ、若シモ二箇年ノ後ニ議會ガ之ニ承諾ヲ與フベキ適
當ノ整理ガ出來ナカッタナラバ、其結果如何ニナリマセウカ、當然ノ結果、非

常特別税ハ廢止セラレ財源ヲ失ウテ、國債整理基金法ハ根柢ヨリ破壊セラ
レ、國民ノ當然ノ負擔タル國債ノ利子ハ拂ヘナクナツテ仕舞フ、若シ斯ノ如
キ修正ヲシタナラバ實ニ國家ノ信用ハ根柢カラ動搖スルノデアアル、ソレ故ニ
斯ノ如キコトヲ避ケムトスルニハ其場合再ビ之ヲ繼續スル外、途ガナクナル
デアリマセウ、即チ兩院共ニ同意スベキ適當ノ整理ガ出來ルマデハ何回デモ
繼續シテ行カケレバナラスノデアアル、之ニ反シテ若シ適當ノ整理ガ出來レ
バ何モ二年ヲ待ツ必要ハナイノデアアル、何時ニテモ之ヲ以テ現在ノ非常特別
税ニ代フルコトガ出來ルノデアリマス、即チ年限ヲ附スルモ附セザルモ同ジ
結果ヲ生ズルノデアアル、修正案ノ主張者中ニハ斯ノ如ク年限ヲ附シテ置ケバ
政府ニ背水ノ陣ヲ布カシムルモノデ、政府ハ已ムヲ得ズ眞面目ヲ以テ修正ヲ
企ツルデアラウト云フ説ガアル、併ナガラ又一方カラ之ヲ論ズレバ、若シ斯
ノ如キ國事ニ不熱心ナル政府デアッタナラバ、年限ヲ附スルモ之ガ修正ヲ怠
リ、期限ニ至リ種々ノ口實ヲ設ケテ延期ヲ計ルカモ知レナイノデアアル、此場
合ニ於テ議會ハ政府ノ怠慢ヲ責メ更迭ヲ促スコトハ出來マセウガ、結局國家
ニ必要ナル財源ハ之ヲ失フニ止マル、ソレ故ニ此場合ニ於テモ亦之ヲ繼續ス
ル外、仕方ガナイデアリマセウ、此點カラ論ジテモ同ジ結果ガ生ジテ來ルノ
デアアル、然シテ一方ニ於テハ年限ヲ附セザルモ議會ハ監督權ヲ以テ政府ニ稅
法ノ整理ヲ迫ルコトガ出來ルノデアアル、ノミナラズ議會ハ何時ナリトモ自身
ニ適當ナル整理案ヲ作ツテ提出スル權利ヲ持ツテ居ル、然シテ一方ニ於テハ年
限ヲ附セザレバ大ナル利益ガアル、内外ノ公債所有者ハ危險不安ノ念ヲ抱ク
ノ必要ナク、之ニ依ツテ減債基金法案ハ益々其性質ヲ鞏固ニシ内外ノ信用ヲ高
メ他日事アルノ日ニ於テハ大ニ其效用ヲ發揮スルコトガ出來ルノデアアル、凡
ソ一國ノ財政ヲ料理スル上ニ於テ永久ノ支出ヲ支辨スルニハ、其財源ハ又
永久ノ性質ヲ帶バナケレバナラス、然ラザレバ其國ノ財政ハ不鞏固ニ終ルノ
デアリマス、今一方ニ於テ減債基金法ヲ制定シ、毎年一定不動ノ歲出ガアル
ト云フコトガ明カデアアルニ拘ラズ、之ニ向ツテ二年後ニハ運命ヲトスベカラ
ザルガ如キ、財源ヲ以テ之ニ充テルノハ不親切無責任ト言ハナケレバナラ
ヌ、滿場ノ諸君、此非常特別税法ノ廢止ハ何人モ之ヲ欲シナイ者ハナイノデ
アリマス、併ナガラ我國ノ現狀ガ之ヲ許サヌノデアアル、即チ此税法ノ繼續ハ
理窟ノ問題ヨリモ事實ノ問題デアアル、國家必要ノ經費ヲ支出スルガ爲ニ萬已
ムヲ得ズシテ之ヲ繼續スルノデアリマス、諸君何卒此意ヲ諒セラレテ本案ニ

御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

〔木村誓太郎君演壇ニ登ル〕

○木村誓太郎君 私ハ此修正案ニ贊成スル一人デゴザイマス、依テ其贊成ノ理由ヲ暫ク御清聴ヲ煩ハサウト思ヒマス、扱此非常特別稅ハ申スマデモナク讀ンデ字ノ通りデアリマシテ、此増稅ヲ始メテ成立テラストキノ場合ハ申スマデモナク大戰時ノ中デアリマシテ、ナカ／＼課稅種目ノ善惡、又ハ稅額ノ輕重、或ハ民力ノ耐否等モナカ／＼顧ミルノ暇ナク、如何ナル困難ヲ忍ンデモ軍費ノ供給ヲセネバナラヌト云フ愛國心ヨリ成立ツタモノデアリマス、ソレ故ニ戰爭終局ノ翌年限リ之ヲ廢止スルト云フコトガ、國民ノ最モ信賴スル所ノ法律ニ依テ證文ガ書イテアルノデゴザイマス、假令國家ノ必要ニ依ツテハ同額以上ノ増稅ヲ要求セラル、トモ、更ニ要求セラル、トモ一旦國民トノ公約ヲ履行シテ、此期限ニ至ツテ非常特別稅其モノハ廢止セヌケレバナラヌノデアリマス、國民ハ決シテ國家ノ必要ノ經費ヲ拒ムモノデアリマセヌ、其順序ヲ履マズシテ此儘永久稅ニスルト云フニ至リマシテハ國民ニ信ヲ失ヒ國民ヲ欺クモノデゴザリマス、此稅法ハ政府當局者ニ於キマシテモ決シテ完全ナ稅法トハ見テ居ラヌノデアリマス、イヅレ改正セネバナラヌト云フコトハ認メテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ衆議院ニ於キマシテハ二箇年ヲ期シテ之ヲ改正スルト云フ約束ガ出來タト云フコトデゴザリマス、果シテ其約束ガ眞意カラ出タモノデアリマスナラバ何故ニ此法律ノ期限ヲ二箇年ト云フコトニシテ存置シテ置カナイノデゴザリマセウカ、此修正案モ矢張り二箇年一箇月ト云フ猶豫ヲ與ヘヤウト云フノデアリマスルカラ、政府モ之ニハ贊成ヲシナケレバナラヌノデアリマス、ソレニ政府ハ敵國ト國際談判デモスルガ如クニ、若シモ此年限ヲ存置シテ置イタナラバ期限ニ至ツテ國家ノ必要如何ニ拘ラズ、増稅ノ出來ナイモノノ如ク固執セラル、ト云フコトハ、西園寺首相ガ曾テ述ベラレタ擧國一致ト云フ本意ニモ私ハ背クコトデアラウト思フ、政府モ議院モ共ニ國家ヲ維持スル爲ニ出來タノデアリマス、設ケラレテアルノデアリマス、然ラバ國家ノ必要ニ迫ツテ居ルモノヲ假令年限ガ過去ツタトテ最早アトハ知ラヌト云フコトハ、此代議政體ノ今日ニ於キマシテハ、決シテ有ラウ筈ハ無イノデアアル、唯國民トノ公約ヲ重シ一旦期限ヲ附シタモノハ假令少々ノ年限ヲ延バストモ法律ニ期限ヲ存置シテ置イテ、其期限ニ至ツテハ更ニ一旦公約ヲ重シテ打切ツテ、其足ラザル所ハ更ニ租稅ヲ要

求スルノガ國民ニ信ヲ失ハザル正當ノ手順デアラウト私ハ思フノデアリマス、本案ニ對シテ政府ノ説明セラル、所ニ依リマスルト、政府ハ彼ノ減債基金ナルモノト特ニ關聯ヲセシメラレテ、斯ノ如キ俄ニ經常歲出ガ増シタコトデアラカラ、之ニ對シテ歲入ヲ得ナケレバナラヌ、經常歲出ニ對シテハ經常歲入デナケレバナラヌト云フコトデアリマス、ソレ故ニ此期限ヲ削除シタト云フ説明デアリマスルガ、是ハ即チ形式上カラ論ジマスルト成ル程サウデモゴザイマセウ、然ルニ形式上カラ申シマスレバ此非常特別稅ト申スモノハ業已ニ此經常歲入ニナツテ居ルノデゴザイマス、三十九年ノミナラズ三十八年度ニ既ニ經常歲入ニ組入レラレテアリマス、然ラバ決シテ此期限ガアルガ爲ニ經常歲入ニナラヌト云フ譯ハ無イノデアアル、又豫算ノ上カラ見マシテモ何ミノ歲入カラ何ミノ經費ヲ支辨スル區別ト云フモノハ少シモ立ツテ居ナイ、ソレハ陸海軍ノ擴張トカ云フ臨時費ニハアリマシテモ、經常費ニハ左様ナ區別ハ少シモ無イノデアアル、サウシテ見ルト、此經常總額ノ中カラシテ此減債基金ヲ支辨シタカト云ウテモ形式上カラ少シモ差支ヘル所ハ無イノデゴザイマス、又經常歲入ナルモノハ現在經常歲入デアリナガラ、年限ノ附シテアルト云フコトハ單リ此非常特別稅ニ限ツテハ居リマセヌ、他ニ其例ガアルノデアアル、彼ノ地租條例ニ於キマシテ地租千分ノ八ト云フモノハ年限ガ附シテアルニモ拘ラズ從來矢張り經常歲入ニ組入レラレテアルノデアリマス、又事實ノ上カラ申シマシテモ二箇年ノ後ニ二箇年以内ニ於テ猶豫ヲ與ヘヤウカラシテ其期限内ニ十分調査シテ更ニ之ニ代ルベキ財源ヲ提出セヨト云フノデアリマス、形式上カラ申シテモ事實ノ上カラ申シテモ決シテ之ヲ無期限ニセネバナラヌト云フ理由ハ少シモ見出スコトガ出來マセヌ、故ニ私ハ此二十七條ノ四十一一年三月三十一日限り廢止スルト云フ修正案ヲ贊成ヲ致ス、即チ今ヨリ算ヘテ見マスルト二箇年ト一箇月ノ歲月ヲ假シ調査ノ時日ヲ與ヘ而シテ我ミノ聞及ンデ居ル調査會ノ如キ或ハ弊害ノ虞ノアル調査會ヨリ寧ロ政府ヲシテ十分責任ヲ負ハシメ調査セラレムコトヲ希望イタシマスノデゴザイマス、ドウカ諸君ニ於キマシテモ此修正案ニ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

〔子爵谷干城君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 谷子爵ハドウ云フ……

○子爵谷干城君 私ハ三島君ノ御演說ニ付テ此案ニ贊成ノ理由ヲ述ベタイ、

何カト申スト私ハ始メ廢案説デアリマシタガ、廢案説ガ若シ成立タザッタラ好イ修正ガ出タレバ其修正ニ賛成スルコトヲ先刻述ベマシタ、ソレデ一應之ニ付イテ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、御許シテ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ノ修正案ニ賛成ノ趣旨ヲ御述ベニナリタ
イト云フノデスカ

○子爵谷干城君 左様

○議長(公爵徳川家達君) 唯今通告者ガアリマスカラ、平山君ノ登壇ヲ促サ
ウト思ッテ居リマス、ソレガ濟ミマシテカラ願ヒマ

○子爵谷干城君 ソレナラバ宜シウゴザイマス

〔平山成信君演壇ニ登ル〕

○平山成信君 諸君、私モ此法案ノ特別委員ノ一人トシテ既ニ委員會ニ於テ
原案ニ賛成ヲ致シテ曾我子爵ノ御説ニハ反對ヲ致シタモノデアリマスルデ、
此際一言イタシテ其理由ヲ諸君ノ前ニ訴ヘヤウト考ヘマスノデアリマス、先
刻谷子爵ハ相モ變ラズ國事ニ對スル非常ノ御熱心ヲ以テ縷々御精神ヲ御吐キ
ニナッタ其點ニ付テハ如何ニモ私ハ敬服イタス譯デアリマス、又續イテ曾我
君モ此修正案ヲ提出サレテ段々御熱心ノ御説モアッテ是亦其御趣意ニ至ッテハ
如何ニモ敬服イタシマスルガ、何分御趣意ハ宜シイケレドモ其方法ニ至ッテハ
ハ如何トモ賛成ガ出来マセヌ、故ニ已ムヲ得ズ平素敬愛スル所ノ諸君ニ對シ
テ此所ニ反對ノ意見ヲ陳述イタシタイノデアリマス、チヨット始メニ申シテ
置キマスガ、過刻谷君ノ御演説ニ依ルト頻ニ農民ノ苦シイコトヲ御述ベニ
ナッテ非常特別稅ハ總テ農民ガ負擔シタカノ如ク聽取リマシタ

〔子爵谷干城君「七百万ナンボ」ト述ブ〕

私ノ考デハ一億六千万中デ租稅ニ堪ヘスト云フ者ハ三四千万ト考ヘマス、シ
テ見ルト強チ農民バカリガ負擔シタ譯ヂヤナイ、商工業者モ農民ト同ジク我
ニ職業ノ無イ者モ共ニ負擔スルノデ、要スルニ舉國一致忠愛ノ精神ヲ以テ此
稅ヲ負擔シタラウト思ヒマス、其中ニモウツ相續稅ノ時ニ年限ヲ附ケルト
云フ説ヲ熱心ニ主張シタ其精神ヲ以テ是ニモ年限ヲ附ケルト主張セヨト
云フ御説デアリマシタ、如何ニモ私モ其時相續稅法ノ委員ノ一人デ年限説ニ
賛成シタニ相違ナイ、併シ其時ハ谷君ハ此際年限ヲ附スルト云フコトハ止メ
タラ宜カラウト云フコトデ、懇々御説論ガアッテ……

〔子爵谷干城君「其時ト今トハ時勢ガ違フ」ト述ブ〕

其御説論ニ從ッテ私モヤメタ譯デアリマスカラ、其事モ一應申上ゲテ置キマ
ス、一體此非常特別稅法ニ年限ヲ附ケルト云フ御説ハ段々アリマスガ、要ス
ルニ之ヲ推シ詰メテ見ルト二點ヨリ外ニ無イノデアアル、其一ツハ今二十七條
ヲ削除スル時ニハ天下ニ向ッテ信ヲ失フト云フノデアアル、成ルホド一旦平
和克復ノ後、一年經ッたらヤメルト言ッテ置イテ今日之ヲ繼續スルト云フノデ
アルカラ、前ノ言葉ニハ違フニ相違ナイ、併ナガラ今谷君ガ相續稅ノドキト
今日トハ時勢ガ違フト仰シヤッタ通り其時分ト今日トハ時勢ガ違ッテ二十億ニ
近イ國債ヲ負擔シテ居ル場合デアアルカラ、是ハ時勢ノ變化……

〔子爵谷干城君「戰時稅ダカラ……」ト呼ブ〕

マア御聽キ下サイ、アトデ……時勢ノ變化已ムヲ得ナイコトデアアル、ソコデ
過刻會我君ノ御説ニ二年ノ年限ヲ附ケレバ、五十歩百歩デアアルガ、マダ
幾ラカ宜イデヤナイカト云フ御説デアッタ、既ニ五十歩百歩ト云フコトハ御
認メニナッテ居ル、即チ委員會ニ於テモ此議場ニ於テモ稅法ヲ整理セヌナラ
スト云フ御説ハアルガ、二年經ッテモ、三年經ッテモ、此金ガ要ラナクナルト
云フ御説ハ少シモナイ、金ノ必要ハ皆認メテ御出デニナルノデアリマス、故
ニ大問題デアアルガ、推シ詰メテ行クト些細ナ論點デ、既ニ五十歩百歩ト云
フコトハ曾我君モ御認メニナッテ居ルノデアアル、二年經ッテ後ニ幾ラカ負擔ガ
減ルト云フコトナラバソレハ宜シウゴザイマセウ、今日デモ二年延バスト云
フ修正説ニ同意ヲスレバ人民ノ負擔ガ幾ラカ減ルト云フコトナラバ人民ガ滿
足スルデアリマセウ、人間ト云フモノハ、感情ノ動物デアアルト云フコトハ曾
我君モ仰シヤイマシタガ、實ニ其通りデアアル、負擔ガ減レバ喜ビマセウ、併
ナガラ修正説ニ從ッテモ一向負擔ハ減ラヌ、ソレデ人民ガ喜ブト云フコトハ
私ニ於テ了解ガ出来ヌノデアリマス、ノミナラス今申ス通り二年經テバ其金
ノ負擔ガ弛ムト云フ見込ガアレバ、マダ宜シイケレドモ、二年經ッテモ三年
經ッテモ弛ムト云フコトハ無イ、而シテ其金ノ要ルト云フコトハ、修正案提
出ノ御方モ其他ノ御方モ、過日來委員會ニ於テノ御説ヲ承ルニ、皆御承知デア
ル、シテ見レバ是ニ年限ヲ附スルト云フコトハ誠ニ無意味ナコトデ、過刻三
島子爵ノ仰シヤッタ通り實際ニ於テハ何ニモ利益ハ無イト考ヘル、サウスル
ト殘ッテ居ルノハ、是ガ政府ヲ促シテ稅法ノ改正ヲ促ス便利ニナルト云フ一
點ガ殘ルノデ、ソレハ過刻三島君カラモ仰シヤッタ通り何モ是ニ年限ヲ附シ
テ置カヌ所ガ今日其稅法ノ改正ヲ要スルト云フコトハ政府自ラモ十分認メ

テ居ル、衆議院ニ於テモ認メテ居ル、御同様ニ於テモ認メテ居ル、ノミナラズ天下ノ人モ悉ク認メテ居ルノデアアルカラ、此改正ヲ政府ガ怠ルト云フコトハ是亦私ニ於テハ考ヘラレヌノデアリマス、況ヤ其改正正ト云フコトニ付テモ一ツ申シテ置カヌナラヌノハ、ソレハ或ハ稅目ノ整理トカ或ハ徵稅ノ方法トカ云フ改正ガ重モニナルノデアラウト考ヘマスガ、根柢ヨリ此負擔ヲ減ラスト云フコトハ、到底見込ガ付カヌト私ハ思フノデアリマス、然ラバ何ヲ苦ンデ今日茲ニ強ヒテ二年三年期限ヲ附ケルト云フノデアアルカ、ドウモ千思萬考シテモ私ハ其必要ヲ認メナイ、ノミナラズ過刻三島君カラモ既ニ御話モアリマシタガ、政府ニ於テ惡意ガ無イニモセヨ、如何ナル事情ガアツテ此二年ノ間或ハ三年ノ間デモ此稅法ノ改正案ガ出來ナイト云フコトノ決シテ起ラヌト云フコトハ誰シモ保證ハ出來ナイ、若シ政府ノ惡意ニアラズト雖モ、何カ必要ノ事ガアツテ二年經テモ此改正ガ出來ヌト云フコトガアツタラ如何デアリマセウ、其時ニナツテドウモ是ハ據ナイカラ又之ヲ延バスト云フヨリ外ニ仕方ガ無イト云フコトデアアルナラバ、ドウモ私ハ曾我君ノ仰シヤルヤウニ納稅者ガ喜ブト云フヤウナコトモ無シ、實際何ニモ效能ハ無イト信ズルノデアリマス、又過刻曾我君ハ將來國債サヘ増サナケレバ公債ノ價格ハ維持ガ出來ルト云フコトヲ仰シヤイマシタガ、勿論今日新舊公債合セテ二十億ニモ滿タムトスル場合ニ、此上ニ必要ナク政府ガ公債ヲ起スト云フヤウナコトハ勿論私ドモ曾我君ト共ニ絶對ニ反對シナケレバナラヌデアリマスガ、併シ公債ヲ起サヌバカリデハ役ニ立タヌデアリマセウ、今有ル國債ヲ段々減ラシテ行カスケレバ、即チ借リタ借金ハ返サヌト云フ譯ニハイカヌ、其爲ニ過刻此議場ニ於テ全會一致ヲ以テ國債整理基金ノ法案ガ通過シタノデ、之ニ對シテ年々一億一千萬ノ金ヲ積マヌナラヌト云フコトニナツタノデアリマス、即チ公債ヲ殖ヤサヌバカリデナク、減ラサナケレバナラヌ、此財源ガ無ケレバナラヌト云フコトハ一向議論ガナイノデアリマス、最早過刻來段々ニ御説ガアツテ雙方ノ論點モ分カタラウト存ジマスカラ、ドウゾ諸君ハ之ニ對シテ相當ノ御判斷ヲ御下シテ願ヒマスガ、是ニ一ツ申シ添ヘテ置クコトガアル、此大戰争ノ前ニハ日本ノ公債ガ海外ニ散布シタ高ガ幾ラアツタカ知リマセウガ、或ハ一億カ二億グラ非ノモノダラウト思ヒマス、所ガ今日ニ於テ八十億以上ノ國債、即チ借金ガ海外ニ散亂シテ居テ、唯今各國ノ人ガ持ツテ居ル、之ヲ持ツテ居ル人ハ我財政ト直接ニ利害ノ關係ヲ持ツテ居ルノデ、我財政宜シキヲ得ズ此

公債ガ價格ヲ落スト云フヤウナコトガアルバ延イテ國家ノ信用ニ關係スルコトデアツテ、今日マデハサシタル關係モ無カッタガ、今日ニ於テハ海外ニ於テ十億以上ノ日本ノ國債ヲ持ツテ居ル人ガ各國ニ散亂シテ居ルト云フコトハ片時モ忘レテハナラヌコトデアラウト思ヒマス、今一步ヲ進メテ申セバ先刻三島君モ御演説ニナツタ通り今日ハ實ニ容易ナラヌ時節デアツテ、鐵火ノ戰爭ハ濟ンダケレドモ、平和ノ戰爭即チ經濟上ノ競争ハ一日ニ甚シキヲ加ヘテ行ク、鐵火ノ戰爭ハ一年二年ト云フ限リガアルガ、經濟ノ戰爭ハ何時マデ行ツテモ益盛ニナルトモ衰ヘハセヌ、之ニ對シテ我々人民ハ十分ノ覺悟ヲ持ツテ居ナケレバナラヌ、政府モ出來ル限リ節約ヲ加ヘ、公債モ起サヌヤウニスルガ宜シイ、人民モ亦已ムヲ得ヌ負擔ハ思ヒ切ツテ負擔シテ行クヨリ外ニ仕方ガナイ、而シテ二年ノ間舉國一致テ大戰爭ヲ爲シ遂ゲテ無事デ今日ニ至ツタト云フコトハ、我國民ノ熱誠ニ依リ又我國力ノ豫テ思フタヨリモ發達シタト云フ結果デアリマセウガ、是ダケノ大事業ヲ爲シタ國民ハ此負擔ヲシテ今後經濟ノ競争ニ打勝ツテ行クト云フ決心ハ持ツテ居ラウト思ヒマスカラ、私ハ是ガ通過シタ所ガ決シテ差支ハ無イ、差支ナイノミナラズ今日ハ已ムヲ得ナイコトデアアルカラ、ドウゾ僅バカリノ理由ヲ以テ非常ノ關係アル此法律ニ期限ヲ附ケルト云フヤウナコトハ、ドウゾナサラヌヤウニ希望イタシマスノデアリマス、唯今ノ木村君ノ御説ニ對シテハ矢張り谷、曾我兩君ノ御説ノ範圍内ト思ヒマスカラ別ニ申上ゲテ置クコトハ無イヤウデアリマスガ、木村君ハ先日豫算委員會ニ於テモ頻ニ此經常歲入云々ト云フ御質問ガ出マシタ、其コトノ御説ガアリマシテゴザイマスガ、第一讀會ノ初メニ於テ大藏大臣ガ此席ニ於テ、經常云々ト申サレタノハ、私ハソレハ其豫算ノ編製ト關係シタ意味デハ無イ、永久ノ稅源ヲ要スルト云フ意味ニ了解シテ居リマスカラ別ニ之ニ對シテハ疑ヲ起サナカッタノデアリマス、今又木村君ガ其點ニ就テ云々ト云フコトデアリマスカラ序デナガラ併セテ一言イタシテ置キマス、ドウゾ此本案ハ……修正案ハ消滅シテ原案通り可決ニナラムコトヲ希望イタシマス

○子爵谷干城君 ソチラヘ出マセウカ

○議長(公爵徳川家達君) コチラヘ……

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 唯今曾我君ノ修正案ガ出テ居リマス、私ハ固ヨリ先時申上

ゲタヤウニ絶對ニ此案ニハ反對ノ考ヘデゴザイマス、併ナガラ既ニ否決ト云フ……私ノ考ヘハ破レタノデアリマス、スレバ不満足ナガラモ會我君ノ提出サレタ案ヘ賛成ヲスルノデアリマス、ソレ故ニ萬一ノ豫備ノ爲ニ是ガ破レタラ是デ行カウト云フヤウデ、實ハ大賛成ヲ會我君ノガヘモシテ居ル、第一門ガ破レタラ第二門デ防ガウト云フソレダケノ準備ハシテ居ルコトハ御承知デアラウ、ソコデ先ツ其三島君ノ御演說ヲ聽キマスルト非常ナ嚴酷ノ御宣告ト聞エル、デ斯克／＼ト云フ譯デドウシテモ此是ダケノ金ガ無ケレバナラナイ、外ニ出シヤウハ無イ、之ニ賛成ヲセヌ者ハ直接ニハ仰シヤラヌケレドモ殆ド國民トシテ國民ノ義務ヲ知ラヌモノト云フヤウニ聞エル、ソレカラ擧國一致、是ハ平山君モ仰シヤッタガ、擧國一致ト云フコトハ御承知ノ通り戰爭ヲ始メタ時デ……デ、サウ云フコトニナッタラバ縱令幾多ノ不満足ガアラウトモ涙ヲ吞ンデ怍ヘテ即チ擧國一致デヤラニヤナラヌ、ソレガ何ゾヤ今日ハ既ニ平和克復、ソレカラ一方デハ權力範圍ガ廣マッタト云ウテドン／＼内地ノ金ヲ海外ヘ持テ行ッテ使フ、又ソレモ暫ク已ミヲ得ヌトシタ所ガ先時申シタヤウニ鐵道ノ如キノデモ、ヤメテ居ッタモノモ復舊スル、其他新事業モ段々見エル、デドウモ此戰爭中ナラ擧國一致デ人民ニ物ヲ言ハサヌノハ已ミヲ得ヌケレドモ既ニ平和克復、諸君ノ方ニハ……餘ホド吞氣ニナッテ居ラル、方ニガアル、ソレニモ拘ラズ矢張り此我ガ忠實ナル人民ニ戰爭ノ時ノ如クニ擧國一致ヲ強フルト云フモノハ是ハ御無理デハナイカ、ソレカラ此人民ハ何ボウデモ稅ヲカケテ聞ヘナイ、國ガ亡ビルト云フ時ナラ兎モ角是カラ先ニモ足ラニヤ、ズン／＼カケウ、斯ウ云フヤウニ私ドモニハ御反對ノ御方ノ說ハ聞エル……我ミノ耳ニハサウ聞エル、ソレデ遂ニ戰時稅ト云フモノハ是カラ何ボウ經ッテモ消滅スルモノデハ無イ、私ドモノ此稅ノコトニ就テ考ヘテ居ルハ稅率ヲ斯ウ上ゲズシテ、或ハ海關稅ノ如キ國ノ勢ガ發達シテ稅率ヲ上ゲテモ收入ハ這入ッテ來ル、ドン／＼這入ッテ來タ以上ハドノ位非御使ヒニナッテモ構ハヌ、併ナガラ稅率ヲ上ゲテハ之ヲ取ルト云フコトニナレバ人民ノ膏ヲ絞ッテ取ル、凡ソ日本ノ國力ハドノ位ノモノデアルト云フノ御判定デアルカ、大抵國力相當デナケレバ稅モサウ取レルモノデハナイ、デ今マデハ即チ戰時ト云フモノデアルカラシテハ怍ヘテ來タ、今度ハ戰時ガ濟ンダラ少シ荷ハ休メテヤラナケレバナラヌ、馬ニ醫ヘテ申セバ先ヅ僅カ三里ノ間デアルカヲ是ホドノ重荷ヲ著ケテモ怍ヘテ行ケル、斯ウ云フモノデ、其短期デアルカラト

云ウテ荷ヲ著ケタ馬デスガ、少シモ休マセズニ是カラマダ永遠此重イ荷ヲ著ケテ來ルナドト云フハ假令畜生ト雖モ不仁甚ダシキモノデアル、況ヤ戰時デアルト云ウテ、戰時デアルカラ擧國一致デナケレバナラヌト不承不承怍ヘテ漸ク是マデ歩ミ著ケタモノヲ金ガ要ルカラシテ之ヲ緩メルコトハ出來ヌ、貴様等ハ國家ノ爲ニ擧國一致デ負ウテ行ケ、斯ウ云フコトハドウモ人民ヲ扱フ道デ無イ、牛馬ヲ扱フ道ト同ジコト、ソレカラ今デモ日本ノ國力ガ何ボウアリマスカ知リマセヌケレドモ、實際多クテ百四五十億シカ無イ、ソナコトヲ言フト大變御心配カ知ラヌケレドモ、唯此日本ノ人民ト云フモノハ忠愛ノ心ガ厚イカラ是ガ負擔ガ出來テ行キヨルノデアリマスケレドモ、此平和克復ノ上ハ少シハ之ヲ緩メテカラニ、即チ國本ヲ培養スルト云フコトニナラネバナラヌ、之ヲ緩メサヘスレバ幾分カ國本培養ニナル、又平山君ノ先刻ノ御說ニ土地ノコトヲ類ニ言フガ、土地ハ皆我ミモ負擔スル、農民バカリ負擔ハシナイ、斯ウ仰シヤル、ソレハ御論デアルケレドモ私甚ダ感服シナイ、先ヅ御覽ナサイ、奥州ノ三縣ハドウダ、人民ニ少シモ彈力ガ無イ、之ヲ又或點カラ言ヘバアレハ情民ダ、ソレ故ニアノ様ニ意氣地ガ無イト斯ウ言ヒマスケレドモ、アスコハ僅ニ米一作、農業ニ適スル氣候ト云フモノハ僅ニ三箇月カ四箇月ホカ無イ氣候ノ土地デアル、ソレデ一旦米ガ出來ナイト云フコトニナルト實ニ憐ムベキ慘狀デアル、其憐ムベキ慘狀ハ何カト言フト、平山君モ御承知ノ通り多數ノ農民デアル、此奥州ノ如キ饑饉ガ西南地方、中國等ニ發生シタトキハドウデアアル、矢張り此土地ニ著イタ多數ノ農民ハ米ガ出來ネバ苦シム、ソレガ苦シムヤウニナレバ小工モ小農モ小商モ皆苦シムノデアアル、ソレデ此土地ヲ耕作スル農民ノ喜戚ト云フモノハ殆ド國家ト休戚ヲ俱ニスルモノデアル、ソレデ是ハ平山君ハ能ク横文字モ御讀ミニナル御方ラシイカラ、ドウカ西洋ノ稅則カラ何カラソナナ事柄ヲ御研究ヲ願ヒタイ、兎角學者ト云フモノハ、トント御氣ノ付カヌコトゴ多イト思フ、ソレデ此儘デ荷ヲ附ケリヤ默ッテ行ク純良ノ農民ニ、構ハヌ構ハヌデ附ケテ行キヨリマスルト、其結果ハドウナルカト云フト土地ニ著イテ居ル者ハ次第二ニ飢エテ滅ルヤウニナル、ソレデ都會ニ皆出テ來ルヤウニナル、都會ニ出テ來テドウスルカト云フト、都會ニモサウ事業ガ餘計無イカラ皆困窮スル、田舎モ困窮シ都會モ困窮スルヤウニナルト、人間ガ頗ル惡ルクナル、追々田舎ドモハ竊盜ハ固ヨリ強盜ト云フヤウナモノモ多クナル、又戰爭ノ結果人氣ハ田舎モ中ニ強クナル、サウス

レバ田舎へ歸ッタ者ナドモ、歸ッテ來テカラニ稅ハ重クナリ生活ニ困ルト云フコトニナルト、頗ル田舎ノ狀態モ變化スル、詰リ社會生活問題ニナル、少シモ三島君ノ御演說、其他平山君ノ御說ナド、此社會ノ狀態ハ眼中ニ御置キガ無イト我ミハ認メル、此五千萬ノ人民ガ困窮ヲシテ人ガ次第ニ惡クナッテ來タト云フコトニナッテ、是ガ朝鮮へ行き、滿洲へ行き、亞米利加ニ行き、濠洲ニ行き、ドウナルカ、ソレハ必ズ日本人排斥ト云フヤウナ運動ガ起ッテ來ル、ハヤ起ルカモ知レナイ、ソレデ社會ノ情況ヲ眼中ニ置カズシテ、忠愛ノ民デアアルカラ稅サヘカケレバ、ドン／＼取レルト云フヤウナ御考ハ誠ニ情ケナイ御考、情ノ無イ御考ト私ハ思フ、ソレデ成ルホド金ノ要ルコトハ私モ存ジテ居ル、ソレ故ニ私ハ豫算會ノトキニ總理大臣ハ固ヨリ其他ノ諸大臣ニ御相談ヲ致シテ、ドウカ十分ニ前途ノ事ヲ御注意ヲ願ヒタイト言ッテ、ソレデ今申ス通り此非常稅ト云フモノニ就テハ、重モノルモノガ即チ地租デアアルカラ重モノルモノヲ私ハ申シタノデアアル、ソレデ初メニモ申シタ通り、誰カ金ヲ持ッテ居ル者ガ田舎デ地ヲ持ッテ、サウシテ謂ハユル不動産ナルモノデ財産ヲ鞏固ニシヤウト云フ舊來ノ大キナ大名デモアリマスカ、利益ガ無イカラ、サッパリ仕方ガナイ、誰モソレヲ希望スル者ガ無イ、其裕餘ノアル人デサヘモ希望シナイト云ヘバ最早五段百姓ニナッテハ仕方ガナイヤウニナル、賣ッテモ價值ガ低ガルカラ賣ッテモ價ガ無イ、作ッテモ利益ガ無イ、私ガ土耳其へ行ッタ時ニコンスタンチンノイブルノ在ニ立派ナ荒蕪地ガアル、是ハナゼ斯ウ云フモノヲ開カヌカト云フコトヲ調ベテ見ルト矢張り稅ガ高イ、ソナ事ヲシハテ引合ハナイ、皆逃ゲテ行ッテ仕舞フ、サウ云フ風ニナルト人心ハドウカト云フト人心ハ惡クナル、私ハ斯ウ云フコトヲ言ヒタウハ無イケレドモ、諸君ガ如何ニモ情ケナイコトヲ仰シヤルカラ、人民ノ情況ヲ訴ヘルノデアアル、ソレデ詰リ困窮スル者ハ畢竟懶惰デアアル、又百姓ハ少數デアアル、渴エ死ンデモ構ハナイ、詰リサウ云フコトニナルト國家ノ基礎ガ崩レルヤウニナル、ソレデ待構ヘタ戰ガ濟ンデ新事業モ段々起ル、一割以上ノ配當ノアル會社ヘモ保護ヲ與ヘルト云フ程ニナッテ以上ハ、先ヅ以テ此約束ヲ返シテ、ヤッテ見テイカヌトキニハ、ソナ保護ヲヤメテ仕舞フガ宜イ、今マデノ不急トシテ暫ク中止シテアツタ鐵道モヤメルガ宜シイ、ソレカラモウ一ツ行ケバ月給モ減ス、總テ諸官衙モ切詰メルト云フコトニナッテ上デ、人民ト俱ニ苦ンダラソレハ無理トモ言ヘヌケレドモ、我ミハ勝手ナ事ヲスル、其方ドモハ國家ニ必要デア

ルカラカケル、斯ウ云フコトニナル、デ今申シタ通り、最初ニモ申シタ通り、私ガ口ハ私ノ口デハナイ、人民ノ聲デアアル、即チ天ノ聲デアアルコトハ深ク信ジテ疑ハナイ、ソレデ我ミカラ言ヘバ衆議院ノ諸君ガコ、へ訴ヘテ吳レナケレバナラヌケレドモ、ソレガ更ニ我ミト意見ヲ異ニシテ居ルカラ據ロナク、斯ウ云フ氣違ヒジミタコトヲ言ハニヤナラヌ、是カラ後起ッテ來ル種々ノ困難ノ問題ハ、是ハ諸君ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌヤウニナリマス、如何ニ人民デ色ミノ事ヲシテモ、ナカ／＼政府ガ誠心誠意ニナラヌ以上ハ人民ヲ感動セシムルコトガ出來ヌ、況ヤ斯ウ云フ冷淡ノコトデハイカヌ、ソレデドウゾ諸君十分御再考ニナッテ我ミ同志ノ曾我君ノ修正案ニ御賛成クダサイ、大早ノ雲霓ヲ望ムガ如キ此期限ヲ待ッテ居ル非常特別稅ニ期限ヲ延ベルハ……殘念ナガラ之ヲ容レラレテ曾我君ノ修正說ニ御賛同アラムコトヲ希望シマス

〔澤原俊雄君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 澤原君ハ……

○澤原俊雄君 此修正案ニ反對ノ通告ガゴザイマスカ、無ケレバ私ハ一言申シテ置キタイコトガゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 修正說ノ……

○澤原俊雄君 修正說ニ反對ノ御說ガゴザイマスレバ宜シウゴザイマスガ、無ケレバ茲デ一言申シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 反對ノ通告者ハ皆終リマシタ

○澤原俊雄君 ソレデハ一言平山君ノ御論ニ對シマシテ、チヨット申シタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 演壇ニ御出デテ願ヒマセウ

〔澤原俊雄君演壇ニ登ル〕

○澤原俊雄君 我ハ此修正案ノ提出者ノ一人デゴザイマス、ソレデ此修正案ニ反對セラル、御方ノ御論、即チ原案ニ賛成ノ御方ノ御論ヲ承ッテ見マスルノニ、此繼續スルト云フコトハ如何ニモ信ヲ破ルノデアアルト云フコトハ疾クニ了知ニナッテ居ルヤウニ考ヘル、唯實際ノ上ニ於テ財源ヲ杜絶スルノデハナイカト云フコト、非常稅カラ取ルノデアアルカラ詰リ是ハ年限通り廢シテモ實際ニ於テハ一ツコトデハナイカ、此二點ニ止マルヤウニ思ハレマス、ソレデ財源ヲ杜絶スルコトハアルマイト云フコトニ付テハ前ニ曾我子爵カラモ御話ニモナリ、尙木村君カラモ辯セラレマシタカラ、私ハ此點ニ付テハ申シ

マセス、唯非常税カラ取ルノデアアルカラ：他ニ財源ガ無クシテ矢張り非常税カラ取ルノデアアルカラ差支ナイデハナイカト云フ御論ニ對シテ簡單ナル御挨拶ヲ申シテ置カウト思ヒマス、デ非常税ナルモノハ既ニ諸君モ論究セラレマシタ如ク非常ノ事變ニ際シ負擔ノ輕重ヲ論ズルノ違ナク強ヒテ特別ノ負擔ヲ人民ニ課シタモノデゴザイマスルガ、抑、税ナルモノハ税源ノ種類ニ對シ其選擇ヲ爲スコトハ最モ注意セネバナラヌコトデアラウト考ヘルノデゴザイマス、サウシテ又負擔ノ輕重ヲ圖リ税源ノ涸渇ヲ防グト云フコトモ最モ必要デアラウト思フノデアアル、デ此非常税ト云フモノハ果シテ此論旨ニ適シテ居ルヤ否ヤ、是ハ私ノ辯ヲ俟タズシテ朝野齊シク其不當ヲ鳴ラシツ、アルノデゴザイマス、デ事變ガ既ニ去ッテ尙此不當ナル課税ヲ繼續セシメムトスルガ如キ、實ニ亂暴モ亦甚シト私ハ考ヘル、ソコデ先刻三島サンモ確カ仰セラレタヤウニ思ヒマスガ、平山サンモ仰セラレタ、非常税カラ取ルノデアアルカラ差支ナイデハナイカ、詰リ形式ニ過ギヌノデハナイカト云フヤウニ私ハ聞イタノデアアルガ、ソレハ唯大體デ仰セラレタコトデアラウト思フ、税ノ内容、即チ實質ニ付テ論究シテ見マスレバ、單ニ非常税カラ取ルノデアアルカラト云フヤウナ見易イコトニハ行クマイト思フ、若シ總額ヲ以テ論ズルナラバ、此度政府ガ提出セラレマシタ所ノ宅地地價修正ノ如キモノハ果シテ如何デゴザイマスカ、衆議院ノ委員會ノ模様ヲ聞キマスルノニ、現在ノ宅地地租一千六百二十六萬圓ヲ修正シテ一千六百二十四萬圓ヲ得ルト云フコトニナッテ居ル、然レドモ諸君、暫ク冷靜ニ其内容ニ就テ研究シテ御覽ナサツタナラバ、決シテ是ハ宅地地租ヲ以テ宅地地租ニ代ヘルノデアアルカラト云フ議論ハ出來マイト思フ、即チ是ハ形式デアアルト云フコトハ論ジラレマイト思フ、其輕キモノヲ減ジ：デヤナイ重キモノヲ減ジ輕キモノニ加フルモノデ、納税者ガ個人ニ於テ苛重ノ苦、即チ重税ノ實質ヲ排除スルト云フコトガ抑、修正ノ目的デアッテ、サウシテ課税ノ公平ヲ保ツト云フコトガ我ミガ最モ望ムノデアアルノデ、デ試ニ農夫今日ノ現況ヲ考ヘテ見マスルニ襁褓ヲ纏ヒ粗食ニ甘ンジ拮据艱勉終歲寧日モ無イ位ニ艱難ヲシテ居ル、サウシテ尙此重税ヲ納メ來リマシタノハ、全ク是ハ愛國ノ至誠カラ來タモノデアアル、決シテ彼等ノ財布ニ餘裕ガアツタノデハゴザイマセス、而モ尙此ノ如キ者ニ對シテ苛重税ヲ強ヒムトスルト云フコトハ彼等ガ果シテ能ク永久ニ堪得ルモノデゴザイマセウカ、サウシテ前ニ申シマシタ税源ノ涸渇ヲ防グ得ルコトガ出來マセウカ、平山君ハ

農バカリ云ウテハイケナイト仰セラレマシタガ、誠ニサウデゴザイマス、併シ私ハ農デゴザイマスカラ農ノ事ヲ能ク知ッテ居ル、單リ農ノミナラズ此重税ニ苦ンデ居ル者ハ澤山アルコトデアラウト思フ、ソコデ其重イモノヲ減ジマシテサウシテ其輕イモノニ加ヘテ行ッタナラバ増シタモノモ餘リ苦ミラ感ジマスマイシ、サウシテ減セラレタモノニ就テハ全ク餘生ヲ樂ムコトガ出來ルノデアアル、此邊カラ推シテ參リマルト等シク非常特別税ノ一億一千萬圓デゴザイマシタガ：一億一千萬圓バカリノ税ヲ此所デ廢シテ、サウシテ又非常特別税ニ類スルモノカラ取ルノハ、ホンノ形式デアアルニ一億萬圓ヲ取ルトハ感心シナイノデアアル、私ハ申シマスル、一億萬圓ニ代ルニ一億萬圓ヲ取ルト云フ總體ノ論デナクシテ即チ人民ガ受クル所ノ其税ノ艱苦如何ニ在ルノデゴザイマス、ソレデ先刻三島君ガ仰セラレタガ、此繼續税ヲ廢スルト云フコトハ信ヲ破ルノデアアルケレドモ、併シ實際サウシナクテハナラヌノデアアルカラ、詰リ名稱ノ問題デナクシテ事實ノ問題デアアルト仰セラレタ、私モ其言ヲ借リマス、我ミガ茲ニ二年ノ時期ヲ附シマシテ其間ニ政府ヨリ適當ナル案ヲ出シテ戴クト云フコトハ是ハ詰リ反對論者ノ言ハル、如ク非常税カラ取ルト云フ形式ノ問題デハナク、即チ名稱ノ問題デハ無クシテ民ノ疾苦ヲ即チ輕カラシメ公平ニ保タシメムトスル所ノ事實ノ問題デゴザイマス、デ其他ノコトニ付テハ色々申上ゲタイコトモアリマスケレドモ、併シハヤ前辯者ノ仰セラレタコトモゴザイマスルシ、私ハ唯此非常税カラ取ッテ非常税ニ變ルノハ單ニ形式ニ止マルモノデ無イト云フコトヲ聊カ諸君ノ御耳ニ入レテ置キマスルノデゴザイマス

○藤田四郎君 討論終結ノ動議ヲ提出シマス

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○議長(公尊徳川家達君) 何デス、聽エマセス

○藤田四郎君 私モ實ハ特別委員長ノ報告ニ贊成イタス者デゴザイマスガ、通告モ致シテ置キマシテゴザイマスガ、此重大ナル問題ナルニモ拘ラズ、議論ノ歸スル所ハ單ニ期限ヲ附スルヤ否ヤニ過ギマセヌノデ、既ニ修正說ニ付キマシテハ數名ノ御演說モゴザイマシテ、是ニ私カラ反對スルニモ及ビマスマイト思ヒマスカラ討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○議長(公尊徳川家達君) 藤田君ノ討論終結ノ動議ガアリマシテ定規ノ贊成

者ガゴザイマシタ、討論終結ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ討論ハ終結シタモノト認メマス、此問題ノ採決ハ記名投票ヲ以テ決セラレムコトヲ要求セラレマシタカラ記名投票ヲ以テ決シマス、唯今議長ハ宣告ヲ致シマスカラ成ルベク御静肅ニ願ヒタウゴザイマス

〔子爵谷干城君 議長、此所ニ名札ガゴザイマセヌト述ブ〕

○議長(公爵徳川家達君) 静肅ニ願ヒマス、ドウゾ議長ノ願ヲ御協ヘニナルコトヲ希望イタシマス

〔子爵谷干城君 ソリヤサウデゴザイマスガ此所ニ何モゴザイマセヌ、ドウシマスト述ブ〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今採決ヲ致シマスノハ申上グルマデモナク曾我子爵ノ修正案ニ對スル採決デアリマス、念ノ爲ニ申シマス、問題ヲ可トスル議員、即チ曾我子爵ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ白色票、反對ノ諸君ハ青色票、斯ウ御投票ニナルコトヲ希望イタシマス、ソレカラ谷子爵カラ唯今何モ無イト仰セラレマシタガ事實何モゴザイマセヌカ

○子爵谷干城君 ドウモ無イヤウニゴザイマス、隣ニモアリマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔書記官氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票ヲ終リマシタカラ是ヨリ開票イタシマス

〔書記官投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、投票總數二百三十九、青色票即チ修正案ヲ否トスル者百八十二、白色票修正案ヲ可トスル者五十七、右ノ結果ニ依リマシテ修正案ハ否決セラレマシタ、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 原案ニ御異議ナイモノト認メマス、是ニ於テ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵吉井幸藏君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵柳原義光君 賛成

〔賛成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ノ直チニ三讀會ヲ開クト云フ説ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、散會前ニ御報告ヲ致スコトガゴザイマス、谷子爵ノ質問ニ對シテ文部大臣ヨリ答辯書ヲ送ラレマシタ、書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔太田書記官長朗讀〕

貴族院議員子爵谷干城君提出東京帝國大學ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十九年二月二十三日 内閣總理大臣侯爵西園寺公望

貴族院議長公爵徳川家達殿

貴族院議員子爵谷干城君提出東京帝國大學ニ關スル質問ニ對スル答辯書

帝國大學教官ハ官吏トシテ官吏服務紀律及文官懲戒令ノ適用ヲ受クヘキハ勿論ニシテ政府ハ官紀ノ振肅ヲ怠ラヌト雖質問主意書中ノ東京帝國大學教授等ノ行動ニ付テハ懲戒處分ヲ爲スノ要ナシト認ム

右及答辯候也

明治三十九年二月二十二日 文部大臣侯爵西園寺公望

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハアトヨリ御報告ニ及ビマス、本日は是デ散會ヲ致シマス

午後三時二分散會